

神戸読書アラカルテ

海文堂書店・発行

お忙しいところおめでとうございます。旧年はよき頃いただき、誠にありがとうございました。今年もよろしくお願いいたします。お歳一回、みなさまを、こころより友人として、お待ちいたしております。



このたび登場することとなりました。この「神戸読書アラカルテ」は、粗造な紙に、いたらぬい文章ですが、みなさまへの感謝の意として、私たちからのメッセージの場として、作成いたしました。言葉んで、ぱいくとくすがごへて結論です。一時でも、みなさまと共にやすせらうと、神戸に根を張って生きる、神戸っ子らしい書店を目指します。みなさまがうれごまわるお手合じます。



今週の本だな

12月の海文堂のベストセラー、他店300冊のミジメ、ミジナ日本初のです。定価わざか、100円の「神戸読書アラカルテ」、私たちが作った、ちょっとユニークな、ちょっとイカした、ちょっと便利な本なのです。神戸の書店・古書店・図書館の情がドッサリのっていきます。ポケットに入れて、元町をぶらぶら、三宮までてくる。サマになってます。あなた、読書マン。一所手にとつて見てください。海文堂にしかありません。



トピック2 灰谷健次郎さんの講演会

児童書作家の灰谷さんは講演会を海文堂が主催しておこないます。灰谷さんは、神戸在住の人で、「うさぎの腹」で知られています。そのうさぎの腹も上映されます。映画を見て、お話を聞いて、午後の一時を過ごしてみませんか。日は12月3日、土曜日、午後2時から、神戸市教音会館大ホールでおこないます。入場料無料です。お申し込みは、海文堂まで。サイン会も予定しております。お早めにお申し出ください。満席になり次第締め切らせていただきます。

こんなこと・あんなこと。① 紙の歴史



紙、そう、その生活欠かせないカミの話を。神ではありません。西暦105年、まだ1分前です。中国の蔡倫といふ人が、木の皮、麻くず、ぼろ布、魚網を原料として紙をつくったといわれています。これが、紙のはじまりです。蔡倫の発明した紙が日本に伝わったのは、後宮18年(610年)、高句麗の僧・景教が伝えたんだ。お馬鹿ですね。でも、外国では、紙が使われるのをもっとおそかったのです。その話は来週します。お楽しみに。

海文堂の催しフーナー12月10日雑誌バザーフェア

見附けてください。あなたの本。

神戸読書アラカルテ

NO.2
540115

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店(東)

- 1月 教育の催し物のプラン決まる
- 2月 雑誌バックナンバーフェア
- 3月 日本の古美術祭見一文堂で古美術を読む
- 4月 太公望と山東のフェア
- 5月 カセントフェア
- 6月 暖き人生への挑戦
- 7月 舞台と探検の世界
- 8月 見聞書作家ベスト
- 9月 岩波フェア
- 10月 小さな共同体から発想する
- 11月 生きていた時代・自己
- 12月 教材本・既定本フェア

今週の 松本 嘉著
本だな 「秘密の株式会社」
ベストセラーズ 650円

驚異的比率でどれだけの人が毎年を席巻し、いまやカリスマ的存在にまでなった著者が、その手口、秋中の作戦を初公開しています。

「宝石」に著者が記事を書くと、毎日だけで1万部売れる、と言われ、今静かに、読まれています。



(1階西面、至高層)
売場にござります

こんなこと。あんなこと ② 紙の歴史

中国の蔡倫が発明した蔡紙法が、西方に伝わったのは、日本よりもさらに一世紀ほど、751年のことです。この年、中央アジアのタラズ通商で、唐の絹貿易イスラムと重って敗れれた時、唐軍の中に紙工が集まり、「紙のカシマ」となって、蔡紙法がイスラム諸国に伝わりました。早い段階で、当時のヨーロッパでイスラムに入っていたスペインに、751年伝えられ、中世末から近世初めにかけて、ヨーロッパ各地で普及してきました。

ヨーロッパでは原料として、古布などを使っていましたが、紙の需要が高まり、原料が不足するようになりました。そこで、かわらの原料の需求が始まりました。せんじ素をもつて多量に多くお木の原料が使われるようになり、1840年ドイツのケルナーによって硝酸ペルムが発明され、1850年ごろから紙原料として使われはじめました。紙の機械化は、その半世紀からはじまって、近年石油化学工業でオイルペルムを製造するの研究がすすんでいます。ですが、まだ完全には成功していません。

1月10日に急に大紙用作成助。その紙用作成助が現在おこなわれています。大阪府立中文庫・陳列室での「紙用作成助展示会」がそれ。20日の土曜まで開催中です。(時間は10時~4時半)

ゆき
まじ

読書新聞1月6日朝刊

読書110番 ちょっとお詫びとお詫び 約定の発売日は全国共通ですか?

問 神戸ではまだ書いてしまったのに、

答 雑誌は定期刊行物のひとつですが、その刊

新幹線に乗って東京へ行ったら、書店にならんといました。雑誌の発売日は全国共通じゃないのですか。

行便に、大きく分けて2つあるので並べれば、〈一般誌〉と〈指定誌〉です。どう違うのか。〈指定誌〉と「X」は、発売日

指定表のこと、全国同時に発売が業界内で決められています。小学校一年生などの学年誌、主婦の友などの婦人誌、等々がその中にあります。〈指定誌〉以外のものがく「一般誌」と呼ばれ、基本的に発売日が決まっていますものの、発行地(主として東京)から遠くなるにつれて、若干の遅れが生じることがあります。でも交通のスピードが格段に進歩した現在、ほとんどその差はない、と言って良いでしょう。

海文堂ギャラリー開設

みなさまのご要望にお応えして、海文堂ギャラリーが登場しました。

美術本は専門本をゆったりと、くつろいで、ソファに腰をおろしてご覧いただけます。次の書籍でははじめで見てください。

ご覧いただきの方は店員にお申し付けください。ご案内いたします。

新刊誌のお知らせ

第二回 著者の小説

越後出版 玄知

新潮社 フィル

世文社 フジタリティプリティ

□ ご参考ありがとうございます。

おみせん たば今品切中

テレビ朝日系列の坂東先生の講座、8日に売り切れました。注文してますので、しばらくお待ちください。

おみせん たば今品切中

まいど、お世話になつります。本年は、昨年にまして、みなさまのおかになりたいと、担当分野に力を入れて頑張っています。新刊書も旧刊書も、お気軽にねぐださい。

最近の法経書の売れ方を見ていくと、かかるに読めぬもの、試験で問われるものが特によく読まれています。判例闇営・老後を考える本などなかなか読み難い、現実の社会を生きにくさびしさを考えられる本です。

暖冬寒夏の今年、僕とボクが力ですが、宜しくお願ひします。



カット・文責 小林

神戸読書アラカルテ

NO.3
510122

〒650 神戸市兵庫区元町通3-140 海文堂書店 (西)

海文堂 先週のベストセラー

出版社	書名	著・編者	定価
新潮社	米内光政 上巻・下巻	阿川弘之	各950円
講談社	北条政子	永井路子	950円
岩波書店	続・イギリスと日本	森山通天	320円
海文堂書店	神戸読書手帖	小林良宣編	100円
新潮社	夕暮まで	吉行淳之介	900円
光文社	豆所堂	清木一郎	600円
角川書店	燃える秋	五木寛之	860円
朝日新聞	私の戦後史	橋田望見	1200円
光文社	百人一首世人事件	山村美紗	650円
ソーテックス社	安全運転してますか?	西原順一郎	1900円

出版関係用語ひろい読み

印税(いんぜい) 出版社が著作者との商いで、出版物の定価に対して10%前後支払うことを契約し、出版障壁に応じて支払う著作権使用料のことです。新法が施行されてからは、翻訳書の印税は、原作者と翻訳者の双方に支払わなければならなくなり、その分ちょっと高くつく勘定になります。河野の影響ありや?、なじや?

大谷美術館
肉筆浮世絵展
江戸時代を中心とした「肉筆浮世絵展」が1月3日から2月12日まで、西宮市大谷記念美術館でおこなわれています。肉筆は大量に印刷される版画と違って一作一点。桃山時代を期から江戸時代にかけての著名な浮世絵師が精緻をかたむけて描いたもので、色彩も豊富なつえ、タッチも繊細。量的にすくなく、愛好家が收藏しているため、ほとんど内外不出になっています。この機会どうですか。是非ご覧ください。同館の開館時間は午前10時から午後4時30分、休館日は休館です。同館は阪神西宮駅下車、西500メートルのところ。

特報!

集英社の「スニッケン」のねだんが変わりマース。
1300円
↓
1450円
になります。
旧定価本をそろえてい
ますので、早めにお求
めください。
※「現代日本の美術」
「浮世絵大系」
は販売しておりません。



ちひろのことば

講談社文庫 300円

まれにみる温かい表現力をもち、その愛情を繪筆に託して、子ども、花、小さな動物と描き続けた童女のよくな絵本作家、りわさき・ちひろ。素直でのびのびとしたちひろの文章の味わいや、絵のつらぬを一層支えて立体感を与えている。



読書110番

ちょっとお洒落じょりかど
本屋さんで本棚は買えますか?

問 いつも思うのですが、本屋さんにある
ようなシンカリじた本棚が欲しいなア
ーと。本屋さんにたのんだら買えますか?

答 本屋の店頭には手しかありませんが、注文す
れば、図書カードでも、本冊でも買い取ら
ることができます。海文堂も水原正三堂などの図書整備に
必要な品は、現在図書館で使われているのですが、
個人で入手できます。普通市販の家具より、当然
ガッシャリした造りです。でも、その分少し高くつき
そうです。カクコグをこすの上、お申し込み下さい。

肩のたけりかわ

1月13日、神戸文芸講技とりうどころか
ら「講技新刊」という名の雑誌をいただき
ました。久しぶりに出会った、この名前、きっとわざわざかい内容だろうナアと思って、ページをペ
ラペラめくってみて、うれしく思いました。自己紹介文のせいか、読めるのです。そして、そこに参
加した人たちの気持ちが理解できるのです。創刊号の特集は、本科第一回講技作家文集／自己紹介＝私
という人間、です。ここに集まつた人たちの思いや、希望はそのまま私たちの中につながってくる内
容です。後表紙にロマン・ロランの著書「藝術がその健康を回復するためには、すべての人に理解さ
れる言葉で、すべての人に話しかければならない。」が書かれられています。この講技の活動がこの
言葉の中にあらわれていると思います。現在、一期生はA班34名、B班17名、あるたどりうで
すか。お問い合わせは、神戸市兵庫区加納寺4丁目1-1、高木ビル、神戸文芸事務局(通33
1-10900)までお気軽にどうぞ。

PRのページ

もうアカン、と見ていたのに、あったー!
雑誌バックナンバーフェア開催中
「思いがけない雑誌を見つけました」と大よろこ
びの声をいたびいています。催し会場で開催中の
雑誌バックナンバーフェア。限られたスペースの
中で、「銀花」「日本の美術」「文芸」「新潮」
「モダニズミング」「小さな薔薇」「現代思想」など
沢山の雑誌を集めています。一度見てください。
会場にない本でも、お申し込みいただければおと
り受けられます。

どうPRをしようか、自店のPRとなる
と、ありそつてなさそう、困ってしまう
。でも、案外知られていない実績をひとつ
紹介します。海文堂は兵庫で唯一の岩波書店
の特約店なのです。岩波の新刊は全点入荷し
ておりますし、できるだけ販売しています。今
どき岩波店なんて、と言われるかも知れませ
んが、その伝統ある一面を大切にしていきた
いと思っています。岩波の本は海文堂でお求めください。

灰谷健次郎さんの講演会を開きます。

3月3日、海文堂が主催して、灰谷健次郎さんの講演会をひらきます。場所は神戸市教育会館大ホールで。時間は午後2時から。「うさぎの眼」の上映もあります。入場は無料ですが、お気軽にお申
し出ください。満員になり次第おきりさせていただきます。

カット・文責 小林

神戸読書アラカルテ

NO.4
540129

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店 (電)

あなたは何冊読みましたか。

78 東阪ベストセラー BEST SELLERS



頭の川底金の本	野本陳平	650円	青春出版社
和音楽教室	有吉知子	980円	講談社
五味手相教室	五味康祐	600円	光文社
黄金の日々	城山三郎	980円	新潮社
不確実性の時代	ガルブレッス	2200円	TBSブリタニカ
海を感じる時	中沢けい	680円	講談社
不毛地帯3・4	山崎豊子	各1100円	新潮社
ライフケースの見つけ方	井上義雄	650円	主婦と生活社
犬猫	西村寿行	650円	徳間書店
野生の証明	森村誠一	650円	光文社

だいぶ少なくて
きまとたが、1階
西店レジにサイン
本コーナーを常設
しています。
芦沢鉢介さん・田
辺聖子さんなど、
お目当ての人たち
の直筆サイン本を
お求めください。

出版実用語ひろい読み

ペーパーバック 紙表紙の本。ポケ

ットサイズの安い本をいいます。日本の文庫本や新書判はその代表的な例で、世界的に有名なものは、ペンギンブック(英)、ポケットブック(米)、クセジュ(仏)、レクラム(西独)などがあります。なお、堅表紙の上製本は「ハードカバー」といいます。



日本人の脳

角田忠信著 大修館書店
2200円 版元案内文

日本人と西洋人では左右の脳のメカニズムが異なり、その違いを解くカギは母音が大きな役割を果す日本語の特殊性にある。このことから生じる感性の相違こそ、彼の文化の相違の根底にあるものである。ユニークな着想と堅実な検証により感性の領域に科学のメソッドを加え、多方面に新鮮な刺激を与えた角田理論の全貌がここに初めて明らかにされる。

「これから出る本」ってご存じですか?

「これから出る本」ってご存じですか。日本書籍出版協会というところから出している「近刊情報」のことです。毎月1日と16日の2回発行されています。これを見ると、来月どんな本が出版されるか一目瞭然。あなたの好みの本に印をつけておいて、購入予定のメモにすることもできますし、事前に書店へ行って予約することもできます。ホント、うまく使えばとても便利なのです。どこへ行けば手に入るかって? 言うもがる、書店にあります。当店では各レジに置いていますので、ご自由にお持ち帰りのうえ、読書計画に大いにご利用いただきたいと思います。

読書110番

ちよつとお聞きしますけど... 英検は書店で受けつけてますか

問 英検の試験を受けたいと思っているのですが、書店に申し込めば大丈夫ですか。

答 実用英語技能検定試験(英検)は、文部省認定のわが国唯一の英語力認定制度です。1級から4級まで分かれています。1~3級は年2回(6月と10月)、4級は年3回(6月と10月と翌1月)行われます。この結果の発送は、特約書店で受けつけておりますのでお申しこみください。当店は2階レジにて受けつけておりますのでお気軽にどうぞ。

岩波だより



○お読みいただいておりました「岩波文庫ジュニア100選」に続いて、このたび「シニア100選」がセット組されました。

○定期評のある「岩波・六法全集」昭和54年版が2月上旬に発売される予定です。今年版もよろしくお読みください。

○近藤義太郎全集(全19巻)の1巻・2巻が全国的に品薄になっています。当店も残部僅少となりましたが、全巻ご予約いただける方におかれています。

話の泉 年賀状

年賀状は書きましたか。今年はゴタゴタと大変でしたね。毎日新聞社の世論調査によると、年賀状を出す枚数は、「20枚以内」が22パーセント、次いで「50枚以内」が22パーセントとなっています。これが高度成長期の昭和45年12月の調査の時は、20枚-24パーセント、50枚-17パーセント—不況になると、せっせと年賀状を書くらしさですね。女性より男性の方が多くて、どくに男性では40代、50代がほかの年代を上回っているとのこと。ところで、出さない人の理由って何だろう、興味ありますね。

※ 出さない理由 52年 45年 面倒だ (40)(36) 年は「出さない理由」が一項目

書くのがきらい (32)(32) ひえるかも知れません。

意味 (14)(9) その他・無回答 (5)(8)

出さない習慣 (27)(23) (解答は複数で、数字はパー)

出す相手がない (13)(12) (セントです) カット・文責 小林

神戸読書アラカルト NO.5

540205

〒650 神戸市兵庫区元町3-146 海文堂書店(重)

写真本語るあるさとの思い出

写真集 明治・大正・昭和 神戸

この写真集、あつとおどろく珍しい写真ばかり、
280枚を収録しています。神戸百年のあゆみを
目でご覧になれます。元神戸美術館館長の荒尾銀成
さんの著集で、やさしく解説されています。一冊
お手ごとにどうですか。限定出版のため、かなら
ず缺になります。

1月30日発売 定価4800円 発行所 国書刊行会

海原はるか—海文堂の軌跡

今から数回にわたって、海文堂の歴史を連載します。おなじみのファンも多いことと思いますが、
「あの時の海文堂」をご存知の方はお便りをお寄せください。

大正14年

神戸市多聞通六丁目に賃集書店を開業し、一般書籍・雑誌の販売と兼ねて海事図書の
出版を開始。その後書籍の発展とともに、店舗拡張のため、大正12年、元町3丁
目(現在の場所・元高島屋神戸支店跡)に移転。

大正15年

名前を海文堂と改める。

昭和15年

岡田一雄、代表社員に就任。

昭和20年

戦災により、店舗その他一切焼失、灰燼に帰す。戦後、店舗を整理、復興に着手。昭和21年10月、営業を再開。

昭和23年

組織を株式会社に改め、岡田一雄代表取締役社長に就任。

昭和33年

出版部門、海文堂出版株式会社として独立。

昭和38年

南天社書店等と共同出資し、神戸出版版売株式会社(コーベブックス)を設立。

昭和42年

書店部門を株式会社海文堂書店として独立。10月1日より営業に入る。

昭和43年

メトロ神戸店(25坪)オープン。

昭和48年

岡田一雄死去にともない、島田誠代表取締役社長に就任。

昭和49年

店舗増築、70坪から105坪に。

昭和50年

店舗増築、105坪から120坪に。現在にいたる。

PR誌

東洋大賞出版会の「科学サロン」。季刊で現在7号まで発行されています。第1号
以外は在庫あります。年間200円で読みますよ。新しい科学の声をどうぞ。

読書 110 番

ちょっとお聞きしますけど...
紙の種類を教えてください。

問 紙の種類にはどういうものがありますか。また、その使い方を教えてください。

答 紙には実に多くの種類があって、それぞれの性質に適したものに用いられていますが、ここで
は造本に關係のある紙の主なものをお案内いたします。

上質紙 A級印刷紙ともいい、サルファイトパルプ(S.P.硫酸塩系料:木材を硫酸塩酸
塩類と硫酸などの混合溶液で蒸煮して、その紙綿を抽出したもの)が100%で、印
刷用紙のうち最も上等の紙の一つです。表紙や、高級な書籍、多色刷の教科書の本文
用紙に使用されています。

中質紙 B級印刷紙ともいい、サルファイトパルプが70%以上で、印刷用紙のうちでは上質
紙に次ぐものです。主として書籍の本文用紙に使用されています。

上ザラ紙 C級印刷紙ともいい、サルファイトパルプが40%以上で、印刷用紙のうちでは中質紙
に次ぐものです。主として雑誌の本文用紙に使用されています。

ザラ紙 D級印刷紙ともい、サルファイトパルプが40%以下で、印刷用紙のうちでは最下
級のもので、現在は使用されません。(なお、この紙はザラ紙です)

アート紙 写真版や原色版等の精巧な印刷に適するため、高級な画集などに多く使用されています。

インディア紙 聖書・小型辞書等に使われている紙のことです。

硫酸紙 漏込紙、模様紙、型付紙、クレープ等を統合して硫酸紙といい、本では見
返し用紙や表紙、台紙などに用いられています。

なお、この他、ライフ誌・タイム誌などに使われているマシン・コーテッド・ペーパー、ク
ラフト紙、ハトロン紙、クレープクラフト紙などの包装用紙等々、造本に關係のある紙がた
くさんあります。

今週の
本だら
父西條八十は
私の白鳥だった

西條八十著、廣井社発行、950円。

西條八十を父にもち、自らも詩人として立った
著者は、父の最後の姿に、神聖な詩人魂の化し
た白鳥を見る。孤独ながらも、親子の愛情の静
かなしさに、やさらかな人生の底辺を感じ、
人生のおりひじを回顧する。この本には、父西
條八十の詩魂が頬をのぞかせている。

私家版 (じかばん) = 私家本

もともとは官版に対して、民間の刊行物をさして
私家版といった。現在は非営利的に発行して、セ
ルフ出版に配布する印刷書籍をさして、こう呼ん
でいます。

海文堂出版の新刊 ☆

「科学小説」(950円)を発行いたしました。

販売場でどうぞ。

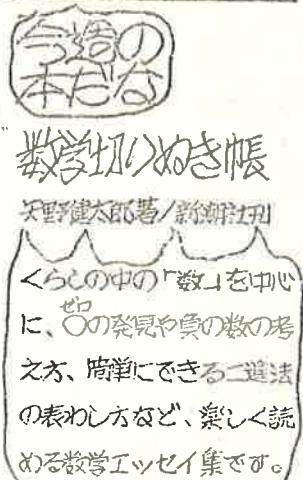
カット・文責 小林

神戸読書アラカルテ NO.6 540212

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店 (電)

こんな本が販売されています 海文堂のベストセラー

KKベストセ リーズ 新潮社	秋葉の株式会社 タスカ	松本豪 650円 毛利義介 900円
講談社	もう頼りはつかない	見延典子 750円
新潮社	新潮現代文学 32	三島由紀夫 1200円
海文堂書店	神戸読書手帖	小林良宣編 100円
新潮社	新潮現代文学 44	森田次郎 1200円
青文出版社	たちまちなくなる本の本	小林清司峰 650円
講談社	北条政子	永井路子 950円
講談社	ギネスブック	ノリス・マクダーニル編 980円
経済界	宝石何物の秘密	高木俊男 630円



海原はるか 海文堂の軌跡

事業概要

弊社は創業以来60余年を、港神戸にひざわらじ海事図書の出版と、港神戸のブックセンターとしての書籍小売業を二本の柱として、地方文化の発展をめざして歩んできました。この間、増大する読者のニーズに答えるべく、支店の設置、本店の拡張にも取り組み、現在は本店売場面積は120坪、メトロ神戸店25坪、従業員25名で営業いたしております。

弊社では、古くから理工学書、人文社会学書を中心とした専門書店として親しまれてまいりましたが、最近は店舗の拡張にともない、総合書店として幅広い品ぞろいを心がけております。同時に、アラカルテ2号でござしました年刊フェアの企画や、次号の「個性ある書店経営」に記すように、ユニークな「読者のために開かれた書店」として、今後より一層の発展を心がけております。

本年(昭和54年)は海文堂出版(株)の本社ビルを、東京水道町二丁目に新築し、メトロ神戸店の10周年を記念して全面改装を行なったほか、日本図書連盟会員、教育会館図書館の新設を全面的に協力させていただいております。また、神戸をはじめでの読書PR誌「神戸読書手帖」を発行して、読者のみなさまにご好評いただいております。

弊社としては引きつづき、地域文化に寄与した活動を心掛け、「個性ある書店」としての存在理由を読者の皆様に向う努力をつづける覚悟でございます。



読書110番

ちょっとお聞きしますけど...
雑誌の直送はできますか

問 ちかくに書店がない圏域にお住
すが、雑誌を毎月購読したいと思ってい
ます。専門誌のため書店にもありません。
より方法はないでしょうか。

答 ほとんどの雑誌は、出版社から直送してくれます。
ただし、その場合、だいたい一年前の前金払込みシ
ステムを採用していますので、一年分の代金をお
くる必要があります。送料が必要なものもあります
ので、該当雑誌をよくご覧ください。

光音ともす。 点灯会。

点灯会は明石市内の点訳グループで、昭和40年に発足、点字図書の作製と点訳者の養成によっているボランティアグループです。さん(未確認)が代表で、会員は6人。同会はこれまで、「兵庫県民・民俗編」や、NHKの「兵庫史探訪」など、郷土誌関係を中心に1360冊の点字図書をつくりあげ、同会に登録している視覚障害者(約100人)に喜ばれています。一方、市立中央公民館の登録サークルとして毎月第二日曜日に例会をひらいて、点訳技術の講習をおこない、輪を広げています。

(「神戸新聞」1月23日朝刊)



この本。この人。

去年の晚秋、「本を出したいのですが...」と相談にのられた、林市郎さん(神戸市長田区在住)の本がどうどうできました。書名は「さんかーひろがりの原理」(定価600円)。前衛的な仏教の入門書として書かれたとのことで、商業出版のワク外で産みおどされた自費出版物には、いつも真摯なひにむきさを感じます。興味のある方はご一読ください。

「昭和54年版、海事法令集」を発売いたしました。
2階売場でどうぞ。 カット・文責 小林

出版関係用語ひろい読み

下(ほん)(はんれい)

書籍・學術書などの巻頭で、その編集の角度、使用法を記述したもの。

解題(かいせき)

書物の著者、著作の由来、内容、出版の年月などについての説明。

★海文堂出版
の新刊

神戸読書アラカルテ NO.7 540219

〒650 神戸市生田区元町通1-146 海文堂書店(電)

作家コレクション第3弾 児童書コーナーにて、開催中

灰谷健次郎コレクション

子どもの美しい眼

—灰谷健次郎—



わたしのうちの中の子どもは、いつ旅立ってしまったのだろう。

あの、わざわざばかりの風と話ができる虹はうなわたこの中の子どもは、今どこを旅しているのだろう。

小さな赤い魚のいちが消えたとき、ありつけの涙を出して悲しんだ、あのいとしかったわたしの中の子どもは、今、どこを歩いているのだろう。

わたしをしてわたしの中の子どもを振り返らせるとき、わたしの中にやさしさが満ちる。

今、生きている子どもたちと手をつなぎ語るために、わたしは自分の中の子どもを探る。

子どもについてわたしに語るとき、わたしは活動に満ち、わたしの神経は躍動になる。

子どもたちの美しい眼が美しいのではなく、美しい眼を保つための子どもたちのレジスタンスが、わたしには美しいのだ。

子どものようにわたしは好奇心を持ちつけたい。子どものようにわたしは貪欲に人生を味わいたい。あのビーチの中から夕焼けのにおいがただよつよう、そんな世界を子どもたちが信じるようにわたしも信じたい。

子どもたちがどんな小さいのちにも、やさしいまなざしが向かられるのは、いのちに終点がないにとき、かれやかの女たちがかたく信じているからだ。そんな平和がわたしたちの世界に、雪のようにあつくあつく降りつもるよに…。そんな祈りを子どもたちと共に祈りたい。

灰谷さんの作品

『私の眼』 理論社 1200円・980円

『ナチュラルな生きびつはうまれた』 フレーバル館 880円

『アマコタン』 あかね書房 680円

『らくべえまってろよ』 文研出版 960円

『どこちゃんのヨット』 傑成社 680円

『アマコタンとマコタン』 あかね書房 680円

『おんせいけりいになれ』 墓碑社 940円

『けんちゃんのおばけ』 海文社 530円

『ひとりぼっちの動物園』 あかね書房 780円

『さながらからみきばつはうまれた』 フレー

バル館 880円

『太陽の子』 理論社 1200円

『いとでぼうや』 理論社 780円

※ ただし、当店児童書コーナーにおいて、

灰谷さんの作品をそろえています。一度ご

らんください。

アインシュタイン誕生日記念刊を2階売場にて開催しています。

うさぎの眼を読んで

時どき、お客様向けのPOPを描くことがある。ポスターカラーを皿の上にとかす。緑が鮮明にひろがる。僕の心はそのポスター色に染まる。

「うさぎの眼」は水面にひろがるポスター色の様に僕の心にあざやかに掠がって、一章ごとに心を洗う。教育の場において、全面的な人間としての発達がうしなわれつつある今日の状況から見ればこの本の示す内容はいっとう告発的だ。生きてあることの、人間の中味をしつかりどうえていると思う。さわやか、力強い人間群像を描いたのもいいと思う。ここには、人間の熱が吹き出している。人生のいつの時期にも、失ってはならない、人間としてのやさしさが満ちている。

読み畢じたらやめられがい本、この本を一人でも多くの人にすすめたい。

灰谷健次郎さん講演と映画の集い

海文堂が主催して「灰谷さんの講演と映画の集い」を次の通り開催いたします。入場は無料ですが、入場ご希望の方は、当店各レジにて「入場整理券」をお受け取りの上ご来場ください。満員の際は入場をおことわりすることができます。尚、講演会終了後サイン会をおこないます。

とき・3月3日(土)

ところ・神戸市教育会館6階ホール

じかん・P.M. 2:00 映画「兎の眼」上映

P.M. 3:30 講演会

テーマ「子どものやさしさ」



今週の
本だより

R.F. ドラッカー著

ダイヤモンド社刊

傍観者には自己の歴史がない。傍観者は歴史の上に居るには居るが、役者ではない。傍観者は聴衆でずらもない。芝居とそれを演ずる役者の命運は聴衆に左右される。が、傍観者の反応は彼以外の誰にも効果を及ぼさない。とはいっても、傍観者は、舞台の袖に立って、役者や聴衆が氣づかずに見過ぎるものを見出す。「劇場の時代」から10年、時代はモノの本質を見きわめる「静の時代」へと移行した。本書は時代を生きぬく知恵と勇気をあなたに贈る。只今、予約募集中。

★ 海文堂出版 重版回遊費集物文庫の新刊
シッピング実務総覧

2月発刊

カット・文責 小林

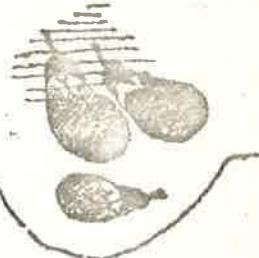
神戸読書アラカルテ NO.8

新規 神戸市垂水区元町通1-146 海文堂書店(電)

この生きる重みを伝えたい 林竹二さんの本

林竹二さんと、瀬川・尼江の教師たちの会話、「教育の再生をめぐて」「原稿第一第一こと、変わること」(以上、筑摩書房)「私たちとの出会い」(国士社)の三冊は、林さんが、在日朝鮮人、朝鮮問題、南北にこぼれ等、現代教育の裏も深い根をもつていたを昭和実業のドキュメントである。後輩の記録、筑成の感想文、先生方の感想文、写真等をまとめていている。この三冊は、若干重複し、補完し合ひながら、全体として林竹二さんの「瀬川で奇跡が起った」ことを生きしく伝えてくれる。この感想は常に、教師たちや、子を持つ親たちだけのためのものではなくしてない。人間の「生きざる」を求めるすべての人に深い真実を感じるものだ。この本の最後感は、ちょっと筆舌に尽し難い。本書の紹介は生きざる生きざる、根性からさばられる思いがし、また、林竹二さんは、不覚にも、羽溴定としてとどまるところを知らずといつ状態に立ち取った。恐らく、すべての人にとって「己の生きざる」への強烈な歎きにはなることを疑わない。すべての人へ林竹二さんの、これらの本をおすすめしたい。(島田)

1.2階書籍、本竹二コーナーを作っていますのでお立ち
ありください。



今週の本だら

昭和萬葉集 全20巻

第6巻「太平洋戦争の萬葉」
発売中です。

昭和元年から50年未満までに詠まれた短歌の中から、藝術的・歴史的にみて永く後世に伝えるにふさわしい名歌を、約1万首、作詞者30万人に厳選して収録しています。このシリーズは、短歌による昭和史を再現して、歌を歌んだことのない人にも深い感動を与えることでしょう。



吉原はるか 海文堂の軌跡

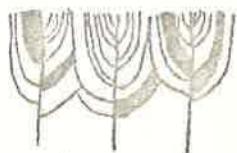
吉原は海文堂の「個性ある書店経営」についてお知らせします。

- 1) インフォメーションコーナー 図書目録、パンフレット等を整備して読書案内をしています。
- 2) 郡土コーナー 郡土の出版物を常設展示、自費出版物、同人誌も扱っています。
- 3) 評評コーナー 新聞・日経・神戸他の各新聞の書評を掲示して紹介しています。
- 4) 海文堂ローン 1万円以上なら何でも分割払OKの海文堂ローンを用意しています。
- 5) 常設・催事コーナー 海文堂のオリジナルな企画を毎月発表展示しています。
- 6) 特色ある商品構成 海事書・美術豪華本は全国でも有数の在庫と販売実績をもっています。
- 7) 郡土に密着した出版 富士市長の「あじさいの心」、「兵庫の同人誌」、「兵庫の素顔」、「播磨の古建築を訪ねて」、「神戸読書手帖」などを出版しています。

読書110番 ちよつどの焼きしまわせなど… 出版目録を等に入れるには

問 ある出版社の桂台目録を手に入れたいのですが、どうしたら良いでしょうか。

答 ほとんどの出版社は、出版目録または一覧表を作っています。特殊な桂台目録でも無料のことが多いようです。目録入手する一番確実な方法は返信料をもって出版社に申しこめことです。これが一番ですが、書店経由で取り寄せる事もできます。直接申しこまれる場合、書店で出版社の住所などを調べてくれますので、お気軽にあたずねください。



郷土誌の目

読書に関する主な本(3)

日本エディタースクール編著・角川版

清水勝太郎 「古撰」 筑摩書房

古谷相武 「記録と鑑賞」 同じ春秋社

久米井家 「読書のよろこび」 河出新書

久山義裕 「読書の伴侶」 创文社

瀬川若村編 「学生と読書」 河出新書

瀬川若村編 「若き日の読書」 河出新書

龜井勝一郎ほか 「読書のすすめ」 创元社

龜井勝一郎 「読書に関する7つの意見」 中央公論社

龜井勝一郎 「読書論」 旺文社文庫

龜井・白井編 「読書の楽しみ」 文芸春秋

草島時介 「読書の心理学」 刀江書院

出口一雄 「良書の選び方」 河出新書

阪本一郎 「私の読書論理」 学芸図書

阪本一郎 「新読書論」 講談社

新潮文庫はA6判です

判型をご存じですか。JIS規格の寸法は次の通りです。

判	A列 mm	B列 mm	たとえば、この
0	841×1180	1030×1405	本がその半型です
1	594×841	728×1050	す。
2	420×594	515×728	
3	297×420	364×515	
4	210×297	257×364	新日本精興出版 新日本グラフ
5	148×210	182×257	文芸春秋 週刊誌の大ささ
6	105×148	128×182	新潮文庫 リーダーズダイジェクト
7	74×105	91×128	



出版反対係用語21語(読み)

定本(ていほん)

古典の原本を比較して、その本文をただして標準となるようにした書物。または、著者による訂正を経た決定版。

カット・小林

神戸読書アラカルテ NO.9

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店 (電)



わたしの「やわらかな心をもつ」 読書短信 へ小沢征爾のこと

現在、国際的に活躍している指揮者の中で最も好きな指揮者は? と問われれば、ちゅうちょなく「小沢征爾」と答える。「僕の音楽修業」(音楽之友社)以来、若きヒーローとしての小沢、あの不幸なT響事件の失意の小沢、そして、ボストン交響楽団の常任指揮者として凱旋した小沢、一貫して注目し続けてきた。それでも、「60年代の才氣煥發とした音楽には同世代としての共鳴とともに、裏返しの反発も強く感じていた。その後の音楽が、精緻なまでに細部を磨きあげ、しかもしたたかに歌心を聴きとり、しかも想像もできなかつけるほど受けとめるようになつたのは最近のことだ。私が未熟だったのか、彼が成熟したのか。彼はオーケストラに君臨する指揮者ではない。しかしながら、ナープな感性を、類い稀な集中力で、きたえあげられたしなやかな体から、実に見事なアクションとして、音空間に放射する能力をもつ。その時、オーケストラも、聴衆も、小沢と共に、音楽を生きる。『写真集・小沢征爾』(集英社)はこの小沢の魅力を良く伝えている。また、数学者、広中平祐さんとの対談集「やわらかな心をもつ」(創世紀)は、"親しく、かつ深を正したくなるような、ほんらいを含んだ微笑のもうまく二人の対談には、最上質の音楽のおじわいがある。

昨年神戸でも小沢征爾のナマ演奏を二回も聴ける幸運に恵まれた。中でも、ボストンのマーラーの交響曲一番「巨人」は最高だった。ワルター、バーン斯坦などいろいろ名盤の誇れ高いレコードを聞き、それなりの感銘も受けたが、小沢が展開したマーラーは、まったく彼独自の世界であり、ただ私も彼と共にマーラーの音楽を生きた。今後の小沢の演奏も本を注目しよう。(島田)

今週の 本だよ 「米内光政」上・下巻

阿川弘之著/新潮社刊

発行的ベストセラー……。世界に誇る大日本帝国海軍の当時に於いて、国運を賭けて海軍を終幕にへらしめた最後の海相を描く、数々のエピソード。東郷平八郎、山本五十六、佐瀬、木村など……。日露海戦、太平洋戦争に至る歴代の人物も登場、その一生を鋭く描く好読物。軍神たる人物の意外性も描いたことが、ベストセラーとなつた所以である。一讀をおすすめしたい本である。(5生)



出版関係用語アラリ読み 【増刷り】(ますぎり)

追加して印刷すること。増刷りすることに改版し、かなり訂正されて第二版、新版の続型を使っての増刷りは「初版第二刷」となります。

読書110番 ちょっとお聞きしますけど… 自刊誌の発行日はウソ? ホント?

問 書店で雑誌を見ていると、2月号もあれば4月号もある。もっと目をこらすと、雑誌の上部に小さい活字で「〇月〇日発行」と印刷してある。発売日は1月だという。いったい、何がホントで、何がウソなのか。はっきり教えてくれ。

答 困ったなー。書店も泣かされているのです。男爵は、新鮮さを見せかけるために?、つい先へ行くようです(特にファッション雑誌では、それがなはだしい)。雑誌の一つの生命はタイムリー性にあるからでしょう。マ、それは出版者の意思で、仕方がないとしても、どこかに、牛乳のパックじゃないけど、製作年月日が入って良いと思いますね。今、はっきりしていることは、記載はないけど、発売日だけ。発行年月日を明記することを読者も書店も望んでいるのです。それが、編集・発行する者の良心だと思うけど。

読書に関する 主な本(4)

白井エディタースクール講

阪本一郎「読書の心理」牧書院

佐古純一郎「読書論」教文館

庄司茂水「わが漫書の記」帖面舎

浦松伝義太郎「読書の愉しみ」筑摩書房

荒正人他「本とつきあう法」読売新聞社

堀秀彦「読書のよろこび」雪草社

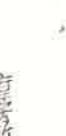
須田慎一「思想を創る読書」三省堂

加藤周一「頭の回転をよくする読書術」光文社

内田義彦「読みといふこと」筑摩書房

白井吉晃編「読書」筑摩書房

紀伊順一郎「読書の整理学」竹内書店



転向

つみたかひこ

右手で突きあげた 曲輪のしづくと
左手に握りしめた 士が
わたしの聖堂を 聖堂に倒たれしているのは
五月のむごたらしい 夢?

夢は云う
—かつてのおまえが
ジヤン・ジヤン・バックを
幼少の意識下に置いていたことを
忘れてはいけない—

どめどめない 曲輪
それは、諒せられど徒隠への供儀?
それでも、
黙示のるかの意図?
何もが書かれてゐます
今だに、わたしの心を捉えて離さぬ
樂譜の體式。

郷土誌の目

姫路で旺盛な出版活動を続いている中央出版は、その仕事の割に知られていない。大変残念に思っていたところ、このほど同社から「季刊・兵庫」が創刊された。35判で、写真をふんだんに使って県内各地をルポ。これは、読める。今号の左巻は「特集・歴史博物館」。これだけで一本になるぐらいいボリュームと内容。定価は700円。

■ 中央出版 姫路市西本町68。

TO YOU FROM 海文堂

海文堂ではO'Sチャーン系の映画チケットを販売しています。毎月どの映画でも900円で見ることができます。二人で楽しむれる方がた、くれぐれも元町のプレイヤード・海文堂をお忘れなく。映画チケットは2階レジにてお取扱いしております。

カット・小林

神戸読書アラカルテ NO.10

〒530 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店 (画)



わたしの「本のある風景」

読書短信 植村達男さんのこと

さて。今日は何を読もうか。書棚の前をウロウロする。「本のある風景」は、そんな時、題名にひかれて手にとった一冊の本だった。パラパラめぐると、神戸の古書店のことなど、本にまつわるエッセイを集めた、コーヒーブレイク風の本だった。ところが、読みだすと、植村さんは高校・大学を通じての同窓で、しかも姫生と同年輩で、なおかつ、高校時代に一期期同じクラブ(吹奏楽部)に所属したらしい事がわかり、これには心底おどろいた。ところが私には植村さんのお顔がどうしても思い出せない。誠に申し訳ないと思いながら、大事にさせていただきますと、私の書棚にしまいこんでしばらく経った。

昨年の夏、「私の選んだ10冊の本」の企画でお客様にアンケートしていただいた中に、この「本のある風景」が選ばれているのを見て、まるで自分が認められたように嬉しくなり、大張り切りで雑貨物コーナーへ、この本を飾り立てることになった。植村さんとの二回目の出会いである。秋。わが社は「神戸読書手帖」を発行した。幸い、大好評で遠方の方からも沢山注文をいただいた。その中にハ王寺市に住む、植村さんからのものがあった。私は、早速、手紙を書いて手紙を添えて「読書手帖」を送った。折り返し、この奇遇におどろいた植村さんから手紙がきた。彼も私のことを思い出せないという。それもその筈で、クラブ存続期間がお互いにずれているうえ、学年も植村さんが一年上である。植村さんの三回目の出会いである。

五月にはOB会で神戸に来るという。本が好きでたまらぬ者同志、話が弾むだろう。四回目の出会いを今から待ちにしている。(島田)

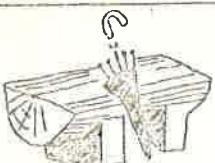


株の本が隠れたベストセラーです!

12月、1月と高値のフブいた株価も、2月の声を削いでから下降がはげしく、3月決算を控えて第一部・二部とも各社決算発表の体制強化に大忙の状態です。iran事情などもありますが、陽春4月には証券筋としては明るい見通しも立てているようです。こういつ背景からでしょ? ところ、株式に関する雑誌や単行本が活発に売れてます。3月9日には、日本経済新聞社から「会社情報」が創刊されまくし、従来から好評の「会社四季報」も発売になります。品切れが予想されますのでお早めにお買い求めください。(S生)

紹介 ■ 伝統と現代 NO. が出版物を展開しています。この種のものでは現在最も多角的な視点からキリこんでいます。ご注目ください。

あんな本屋・こんな本との出会い



まるで、中也の「まことに人生花嫁御りよう…みたいに、このところいろいろなことがあり過ぎた。それこそまるで自分が洪水中立ち向かう一ホのセホのように感じられて、あまりに自分が辛過ぎた。それで、久々振りに私は京都に出て行った。自身がそこで学生時代という、現実世界から離脱した、奇妙に浮かびに時間を作っていた街を、再び、ただ歩き続けることで、見喪った何かを、今一度自分の中に甦らせることができるように気がして、僕はただただひたすらに歩き続けていた。

京都という町は土地柄学生の街というイメージがあるためか、本屋の多い所だけれども、その日不図入った京都書院のいじぎけ庵。そこで僕は一冊の本に出会った。実際まさに出会ったという感じであった。自分が本屋で働いていたながら、まことに歌い始めたのが、今まで一度も聞いたことのない出版社の、聞いたことのない著者の一冊の詩集。どうみたって、そううまいとは思えぬ詩なのだけれど、いかにも今の自身を突きさす言葉の揺らぎがそれにはあった。それをみてる内に僕は、いつのまにか、言葉にならぬ何かが自身の内に甦ってきていたのを知った。「本」にはこうして出会うんだな、という、あの言いようもないなつかしさ。その時、おそらく僕は見喪っていた自身の欠落の一部を再び見出しができたのに違いない。それともあるいは上滑りしていた自分の目がやつひとつつの視点を確立したときも見えづらか。例えそれがその場限りの夢想に過ぎぬとしても、確かにその時僕はそのような出会いを持ったのに違いない。

翌日、僕は早速東京の出版社に面接していた。出てきた相手に自身の勝手な感覚を一方的に押し付けて、その本を入れてもらうことにした。今思つて、さぞかし版元さんは見喰ったことだと思う。ちょっと普通じゃなかったかな、というのが今の僕の素直な感想。きっと、うちの部長は私のこんな仕事ぶりを知ったら大抵王に違いないとは思つたけど、「まあ部長、たまにはこういつのもいいじゃないですか。」

この一冊の詩集は、これから必ずと切らすことなく店に入れておきたいと思つ。そのうち誰か、その日の僕と同じように、この本にあると突然会ってくれるかもしれない。そうなってくれれば、僕の仕入れもスムーズでないのじやなかろうか。その時まで、本はいつもただ一人つましく机の片隅で、その脇に待機しているに違ない。そつ「まことに人生花嫁御りよう、馬鹿も通れば駆車も通る…」だから。(AKI)

出版関係用語アラカルテ 読み

再版・重版 (さいはん・じゅうはん)

2つとも類似した意味で使われていますが、再版の方は既刊の出版物が一度最初になったものを再び出版することです。重版の方は出版者を重ねることで、この場合、発売後の売れ行きをみて、切れないうちに追加印刷することです。ですから、改版あるいは第二版とはおのずから意味が異ります。

カット・小林

神戸読書アラカルテ NO.11

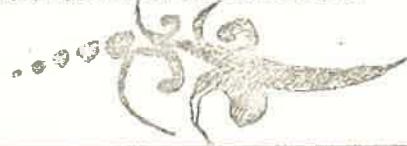
〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店(運)

感銘のごした 灰谷健次郎

講演と映画の集い

3月3日、神戸市教育会館で開催したこの集い、立派な余地もない満員の盛況でした。主催者側としては、この大反響に、うれしい悲鳴をあげると同時に、数多くのお客様に入場料券切れでお断りしたことをお詫びいたします。

灰谷先生のご講演のテーマは「子どものやさしさ」「太陽の子」「太陽の子」と一貫して先生が追求してこられた、子どもたちの本来もっている「やさしさと純真」、それを理解してやれない大人たち、子どもたちと一緒にしていく社会的状況を、先生の具体的な教育実践の体験をひとときながら、一時間半にわたりお話しになられ、満員の会場に深い感動を感じました。



の事で描かれてる。例えば、「ホテル」では、読者はエレベーターのメカニックから、予約システム、信用調査部の仕事、巨大な客室の処理システムから、ボーイのチップの配分方法まで、微に入り細に入って教えられる。都会の忙い高層ビルの中のメカニカルなシステムと、その中で蠢く疲れた現代人たち。城山さんや、特に繰り返す企業経済小説作家たちが、ハイリーと同様の部分を持ちながら、同時に異質であるのは、日本の作家は、日本の企業風土そのままで、巨大な日本株式会社と対比させた「個人」に結局はテーマが収斂されていくのに対し、ハイリーは、人間心理の繊密になると同時に、あるいは、それ以上に巨大な企業組織を闊なく描き尽くそうとする。その結果、彼の小説は人間のドラマと呼ぶよりも「生きた組織のドラマ」と呼ぶにふさわしい趣きをもつ。彼のテーマは、まさに「ホテル」・「自動車」・「空港」・「銀行」である。(島田)

ハイリーの作品(邦訳されたもの)

ホテル
最後の旅路

新潮文庫
新潮文庫

マネーベンジャーナル(上)(下)

新潮文庫
0-8滑走路
ハヤカワ文庫

自動車

新潮文庫
ハヤカワ文庫

わたしの
読書短信
ローザ・ハイリー
のすみれ

ローザ・ハイリー。59歳。ロンドン生まれ。工場労働者の家庭で育ち、卒業。オフィスボーイ、パイロット、雑誌編集助手、コピーライター等を転々とし、35歳の時、テレビドラマ「危険への航行」の脚本で注目をあびた。ハイリーの小説は、日本でもスームを呼んだ城山三郎の経済小説群と比較して、独特だ。「ホテル」・「空港」・「自動車」等、一年以上にわたり精力的に繊密な調査をおこない、正確な資料を豊富に集めて、それを下敷にして、別個的なセックス、黒と白との絶望的な対立、新しい世代と古い世代の葛藤が、忘却され深み

久坂葉子作品集『女』を読んで(1)

久坂葉子といつ女性は、自分を痛め尽くして作品を書きあげるタイプの人間であったといえる。まして21才の夭折。

自分への容赦ない向い、自らに課した過酷な生き様。

ハイパー過ぎる精神で自己客体化を図ったことが、彼女自身の不幸であった。この作品の後書きに富士正晴氏は次のよう

に書いている。

「ボーゲオワールの母招かれた女が死んだ彼女は、もう四ヶ月生きのびて『第二の性占をも読みべきであったと思つ

私はそうは思わない。彼女の自殺指図はボーゲオワールによ

っても救われない。『女』としての生き方としてなら、私であ

ったらシモース・ヴュイユをすすめた事であろう。

その頃ヴュイユの著作が日本に登場していたかどうかは知ら

ないが、久坂葉子といつ人間が持っている美といつものと、ヴ

ュイユの持つパッションといつものが、私の心のなかで妙に合

致する。

20才前後の最近の女性をみると、変に背伸びした人はたくさんいるけれど、久坂葉子のようにドロドロした精神で自らの

青春を食いつぶしているような女性に出会ったことがない。彼

女のよくな女性を、現在に見つけようとする筆者自身、私自身の失なわれた21才へのノスタルジアであろうか……。

「20才。これが人生のもっとも素晴らしい年齢だなどとは誰にも言わせない」とはポール・ニザンの言葉だ。

私は久坂葉子といつ女性も「誰にも言わせない」自らの痛みのなかで作品を書いていたことを、思い浮かべるのだった。

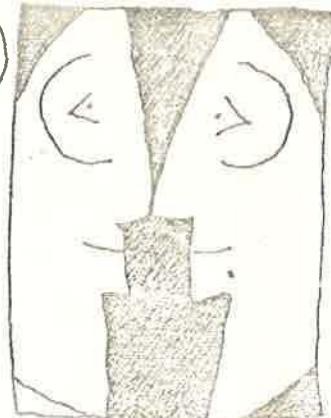
久坂葉子作品集『女』 一冊のみ 1,000円



出版関係用語ひろい読み

著作権

著作物を、その著者および相続人が独占的に利用し得る権利で、著作物の成立と同時に発生し、わが国では著作物の保護期間が死後38年でしたが、昭和14年から死後50年に延長され、権利が存続することになりました。 —カット・小林一



入学おめでとう

新学期をむかえて、晴れやかな気持ちになる季節ですね。

* 教室充電から

「現在、綱々と入荷中の教科書レーダーをお求めの際には、教科書発行版元、および教科書番号をお確かめの上、お求めください」とのこと。

* インフォメーション・コーナーから

「御入学・御就職のお祝いに、便利で喜ばれる図書券をプレゼントされはどうでしょう」と美人がささやいておりました。ちょっと固きのがす手はないですが、立ち止まって、ヨーク考えてみよう。

神戸読書アラカルテ NO.12

〒650 神戸市中央区元町3-146 海文堂書店 (電)



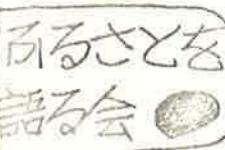
本屋の青さん

2階のなげなしの小窓から、青い空がのぞいている。上天気だ。火曜日だけどお客様は多いだろ。そう思いながら、昨日売れた本を調べていると、その中にタモシエンゴの「材料力学」がある。

10年目の本屋の青さんの僕は、実はつい先日まで、この著者とこの本も知らずに書棚の前を何百回となく往来していた。力作以前に、この本を手に取ってドギマギしていると、当の本人自ら本を書棚から抜き出して「これぐらい知ってないとダメだよ」といさかケーベツ気味の口調。「いやー、どうも…」と頭をかいだ。でも万葉ダントリックな人でもないらしい。「タモシエンゴにどんな本があるのですか」と聞いたたら、親切にもいくつか教えていただいた。この本も以前はコロナ社から発行されていて、現在は東京図書から上・中巻のみ発行されている、と思いつかぬ身勝手。

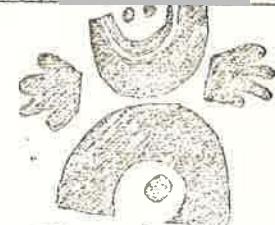
こうしたことが本屋には多い。多いどころじゃない。毎日読者が何につけ教えてもらっている。本屋はエンサイクロペディストではないから、こうして生きる知識を一つひとつ身につけていかなないと成り立たないと思うがする。

本屋が本を知らないわけ、いや違う、本屋が本を知るヒミツは案外日常のこんな読者との対話の中に無性にころがっているのではないか。応対とは積極的に聞くことを含んでいる。何故のない専向に進歩がないのと同じく、向のない本屋には自己犠牲の影がある。思えば、間けの多い、それと同じ数の恥をかかえた三年。これからも恥の上りをしながら生きていくことだろう。無学でアホな本屋の青さんを、読者のみなさん、たすけて下さい。(小林)



作家の村山悠さんを講師に、くるさとの歴史・文学・伝承などを語るサロン。

第196回 市民会館6階601室 18時
「日本人の歴史と家について」等



フェア案内

海文堂では毎月フレッシュな创意のフェアを店内で開催しています。現在は太公望とアルピニストのフェアを開催中、山の本、海の本がいっぱいです。この春、自然の中へとびこんでみませんか。3月30日まで

3月31日から4月末までは「世界の国語でこんなにうし、一カセントフェア」です。昨年大好評いただいたこのフェア、今年も季節のプロがカセントの説明をいたします。世界各地の言葉をそろえていますのでこの機会にお好みの言語にチャレンジしてみて下さい。

尚、2階売場では、教育図書フェアを開催しております。教師のために、親のために読んでおきたい本を厳選して取りそろえています。是非お立ち寄りください。

読書110番 ちよつとお高いけれど… 定価は奥付とカバーどっちがホント?

問 先日、本を買ったら、奥付を見て680円と思っていたのに、レジの女の人に720円ですと、言われて困惑。どうなってるの、コレ。

答 ああ困った。困りますネエ。あなたも私も困ります。どう答えたら良いのやら、ホトホト弱ります。定価の表示は、現在、奥付、表紙、カバー、外箱、スリップ(本の中にはさんである紙)などにしてあります。ほとんど同一ですが、ざくざくたまに、99.0何とかパーセントの割合で、異なることがあります。読者泣かせ、本屋泣かせの本があります。実際困ります。でも、本屋の立場から言えば、奥付の定価表示の方が良い、ということがあります。一番高い定価が本当のその本のネダンだと言えれば讀べる?来るでしょうね。でも、本屋はその定価で出版社に代金を支払っているのです。ざかんべん下さい。私も苦しい。

読書に関する主な本15

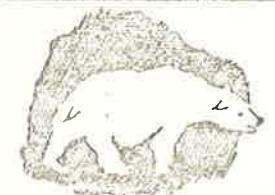
- 日本エディタースクール編「現代人の読書」毎日新聞社
- 紀田順一郎「読書の技術」柏書房
- 紀田順一郎「統・読書の技術」柏書房
- 紀田順一郎「事物との出会い」玉川大学出版部
- 紀田順一郎「知的生産の読書学」柏書房
- 松田道雄「私の読んだ本」岩波書店
- 大内兵衛他「私の読書法」岩波書店
- 梅垣忠夫「知的生産の技術」岩波書店
- 黒田観一「読書のしかた」こぶし書房
- 太田 勤「革命・情報・読書」現代書館
- 白上謙二「現代の青年における挑戦的読書論」昭和出版社

ろくさんのことなど



初開の六三制義務教育で育った男女8人のグループが、日常生活の中で、管理と飼育の現代に抗して考え、しゃべったユニークな本を次々と出している。題してシリーズ「ろくさんはしゃべくる」。神戸市須磨区朝見台に本拠をおくり、「ほほ出版」がするわち「ろくさん」である。書題を呼んだ伊藤友宣著「親と子—この予期せぬ人間関係」をはじめ、一貫して、教育、人間、社会への警世をめざした本作りをすすめている。神戸という、極めつきの出版に廻してはハンディキャップを負った土地柄で、苦悶しながら、どこかく下記の7点をものにされ、引き続き年に3~4点の新刊を目指しておられる由、同じ神戸っ子として、拍手をおくりたい。(島田)

ほほ出版の出版物一覧



「指導者なんかいらんわい」	870円	●おじらせ
「教育されてたまるかい」	880円	海文堂書店は3月は休まず営業
「福祉社会のいいからしさ」	880円	いたします。
「女の解放・男の解放」	900円	
「親と子—この予期せぬ人間関係」	920円	
「子どもたち—教育と福祉の外で」	950円	
「白色の未来」	850円	カット・小林

神戸読書アラカルテ NO.13 540402

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店(電)



抒情！万引諸君！

日頃、私共の店を舞台にしての御活躍、誠にご同慶の到りと存じ上げます。360度回転のTVモニターカメラ、赤外線警報装置などの最新防犯設備をものとせずに、刻一刻と脳の筋前は、まさに脳人中の脳人、プロ中のプロと、全く敬服している次第でございます。皆さんのお仲間が、お巡りさんにお話になったりお対面致しますれば、私共の店は「比較的仕事のやり易い店」とのこと。それと申しますのも、常日頃の皆さんへの環象の急が、つい店舗を知らずらざる間に、お助けする結果になっているのでしょうか。はい。私がどれ位皆さんにご奉仕申し上げているか?、どのおたずねですか。まあ、私共全員のボーナスの半分位は差し上げている勘定になりましようか。そう、大声で私共の馬鹿面を笑わないで下さい。皆さんのお仲間の中にも、この向抜けの店員につかまる方もたまにはありますよ。え?、そんなドジな奴などどんな野郎だとおたずねですか?、それは様々でございますが、多くは一見して紳士風で、皆さん平謝りでございます。それでどうするのかって?、皆さん警察へ行っていただいております。はい。それでは、今度は私共からお引きしてよろしいをしようか?、万引の目的は何でございましょうか?、お金。でも豈ばず割には金額はたいしたことないでしよう。それだけではない?、スリル。確かに、見つかった時のみじめさ、警察につれてゆかれ、家族にも知れ、友人にも知れ、面目つぶれという、高価な代償を賭けて、たいしてお金にもならない行為に全精神と、情熱を傾けつくことは、世の中すべて損得だけで動くことの多い時代、見上げたアドベンチャースピリットですね。でも、それにしても、その情熱をもっと生産的な営りあることに……。見解の相違。はい。それでは、次は是非とも現場でお目にかかりましょう。(M.S.)

★キラッと光る 本の本コーナー

これまで、いかにも縁手といつ感じで、あっちの隅、こっちの隅へとタライ回しにされていた「本の中の本コーナー」が近く湯の目を見て、常設場所を得て新たにオープンしました。今のところ、内容の方はまだまだ不充分ですが、これから一步づづ「読書」「出版」「編集」「図書館」など、本に関するあらゆる本を集めていきたいと思っています。「本」が好きな人、「本」がきらいな人、なんらかの形で「本」と関わらざるを得ない全ての人が、必ず足を止めたくなるよう本コーナーづくりをめざしています。海文堂でキラッと光るこのコーナーをご注ください。(AKI)



荒尾親成氏 神戸写真集 出版を祝う会 —あらあと

3月9日、三宮の生田神社会館にて、荒尾親成氏(旧神戸立美術館、南藝美術館館長)の「出版を祝う会」が盛大に行なわれた。同氏の交遊の広さといつか、勿論のせまる生用の森にぞくぞくと神戸の名頭が駆けつけた。第一部は、荒尾氏の「神戸写真集」(4800円)にまつわる裏ばなしを中心とした講演会。第二部は祝賀パーティで、多くの人が円卓を囲んで、華やかな雰囲気のうちに進められた。坂井景知事の発起人を代表する祝辞、元市長の中井一夫氏の乾杯の音頭、宝塚出身の初音礼子さん、大村豈氏など、芸能界からの参席者もあり、荒尾氏の最後のシーンがしばしば見られた。

会場には荒尾氏のサイン入り写真集、若林画伯の神戸開港直前の額入画(12000円)の販売もあり、人気上々で、8時30分に散会。尚、商品とも、その後海文堂書店で引きフヅキ希望者に販売することにしています。(S生)



春まだ遠い2月といつのに、非常に穏やかな好天に恵まれ、名古屋から山中湖へ向かって、一路木曽路へ。まず最初の目的地は、木曽福島の町。ここは、松本・長野・諏訪湖方面への旅路の時に必ず通る町であるが、ふしきに今まででは途中下車する機会にめぐまれることことがなかった。

名古屋から所要一時間半で到着、まず駅から歩いて約15分の「山村代官屋敷」へ直行。ここは尾張藩の木曾代官を勤めた山村氏の屋敷跡。休憩室から庭を見ながらお茶をいただき、とにかく静かな所。いつも都会の騒音に

なれている私にとっては少し静かすぎるぐらい。代官屋敷をあとにして、徒歩15分で、木曽義仲の墓がある興禅寺へ、そして次に木曽福島廻跡。ここは東海道の猪俣・新居、中山道の碓氷とともに、天下の四大廻跡と呼ばれて、街道を往来する旅人を監視していたところである。ここからは木曽川をはさんで、南北に細長い町を形成している木曽福島の町が一望できます。(藤田能広)

カット 小林



読書110番

ちょっとお聞きしますけど
何故前金を取るのか

問 本をたのんだら「半額渡
前金をお願いします」と言われま
した。ナンデなの?

答 注文品は全て買切品、つまり、本屋はすぐに代金を支払わねばならず、しかもその本は返品することができません。本当はその本が入手してから代金をいただくのが一番良いのですが、読者の中には連絡をさしあげても受取りに来られない方があるため、経営上の危険負担を防止する意味で、前金をいただいているのです。そこを理解いたどきたいと思います。

神戸読書アラカルテ NO.14
540409

〒650 神戸市生田区元町通3-146 文堂書店 (西)



本屋の青さん

空腹をかかえて、行きつけのメシ屋のノレンをくぐる。こここのオヤジさんはなかなかの読書家。「本屋さんは良いですね、毎日本が読めて」とおひさづりに声をかけられた。白バカマを見送されているようで、「セウでもないですよ」とミソ汁の湯気に顔をあてる。「本屋さんの隣に並んで何ですか」と追いか打ちをかけられる。僕は返事に困る。

実際のところ、本屋の樂しみや喜びがたって、特別なものがあるわけじやない。どんな商売も同じじで、お客様に満足してもらうのが、一番樂しいことに違ひない。「ありがとう」とさわやかに一声かけられるだけでも、僕たちの心は充電気につつされる。お客様に「ありがとう」と言っていただく“何か”が、僕たちのすべき“何か”につながっていふ。それは何だろう。

わからない。わからないけれど、僕の中にはレッキとした2つの前提がある。良い本を揃えることと、良い読者を持つこと。これは漠然としてしまってはいけない。これに尽きると思う。価格が同じなら、ネタと院前が合といつのがスシ屋の本道だ。本屋も変わらない。ネタが読者を呼ぶ。この基本の上に、販売の基本が切われば、読者に満足を与えることができるに違いない。

でも、自分の担当の棚を見ていて、ハラウンザリしてこまう。専門知識がない上に、お前! 任せの本が見当たらない。悲しくてやりきれない!。書棚は僕にとっては自分の家、何と食かい、何と他力本願のデコボコの儀の姿。さみしくなっていく。

本屋の清さんには今日もからいミニ汁をする。(小林)

袖白文学学校

ユーマ「歌謡」を訪ねて

日時 4月7日(土) 午後2時~5時

会場 神戸市民生協会館4F

定員50名・参加自由・会費300円



木曽路はみんな
山の中(2)

さて、次の目的地は、国鉄に兼って約20分の、本善十一宿のひとつ、奈良井宿へ。ここでは、奈良井の名産、塗り梅の創始者、「中村憲吉」の家だったという中村邸へ。

中に入ると細長い土間が奥までフスキ、旅籠とはまたちがつた商家の造りを見せております。江戸時代には馬鹿崎をひかえた宿場町として、また塗り物や曲物の産地として、奈良井牛軒といわれるほど賑わっていたそつである。

今日は、あまり時間がなく、木曾福島、奈良井とかけ足の旅になってしまったが、次の

奈良井の民宿に泊まり、夕暮れ
をちこめる宿場町をぜひ味わつ
る気持ちを抱いて、次の目的地
急ぐのでした。

(メトロ店・麹町店)

「久坂葉子作品集『恋』」を読み飞(2)



彼女の作品集の中で、私は『幾度目かの最後』が一番気に入っている。題名通り、彼女は何回かの自殺未遂をくり返した挙句、この作品を書いたあとで本当に阪急六甲駅で列車に飛び込み、21才の命を絶ったわけである。

富士正晴氏がこの作品を遺書と定義づけるよりは遺稿とすべきだと述べているが、私もそう思う。

この作品には生臭ささが少なく、文章が妙に淡々と流れている。彼女の作品を或る女性に読むよううに勧めてみたところ、彼女は読後感として次ののような事を述べていた。——久坂葉子といつも生は太宰治の裏返しの存在に近い。ブルジョワ的な生活をした人間でなければ、彼女のよくな発想は生まれないだろう。私自身女性として、久坂葉子の生き方には興味があるが、文学としては甘ったるさが消えていない事において同意しにくい部分がある。云々——

彼女の話を聞いて、女性の女性に対するじたかみ觀察力に驚いた。私は久坂葉ると実際に交流のあった人を知っている。その人に聞いた話であるが、久坂葉との父親はく重丁の大人物であったそうだ。

太宰治イズムといつものが存在するなら、夕坂薫るはその太宰イズムのなかで自らを殉教者の位置になぞらえたであろうか？太宰には計算、もしくは打算があった。しかし彼女にはそうすることができなかつた。何故であろう。

私が思うに、人生における挫折のなかで、太宰は自分に対する挫折を味方にした。挫折におぼれることによって、自らは冷い計算を内に秘めながらも、外においては演技の力がで綴の存在を作品に向つた。

久坂葉子は挫折を自らの痛みに組み入れた。若すぎる事が作品を昇華せずに、混迷のまま人生を終えた。近く、六興出版から「久坂葉子詩集」が出版される予定だ。私は是非読んでみたい。

彼女の作品集『女』を読んで、最初は感銘を受けながら、段々彼女に対して否定的な考え方を持ち始めている現在、詩集を読んでから彼女に対する最後の信託を決めてみようと思うのだ。(この頃終わり)(フジミたかひこ)

あなたは〇派？（毎日新聞調べ）

■ 本を買つ時何を手がかりに選んでいきますか

書店で見て	42.0%	雑誌の書評を見て	5.0%
人から聞いて	13.0%	雑誌の広告を見て	2.0%
新聞の書評・新刊紹介を見て	10.0%	テレビを見て	1.0%
新書の広告を見て	6.0%	無回答	20.0%

神戸読書アラカルテ

NO. 15
540416

海文堂書店 (西) | 46 | 50 | 元朗區 | 仁政街 | 仁政街 | 仁政街



古書店讃歌

新刊書店に生業を求める小生が、古書店讃美歌を口にするなど、何やら勘定取りで書きづらいが、学生時代は三宮から神戸までの十数軒の古書店を様子見て歩くのが最高の暇つぶしであった。今でも、古書店の前を通ると、足をどごめたくなる新感はさからいようがない。たいていは、細長い店の、一番奥に“あるじ、や”と座っていて、小生が入口に一歩でも足を踏み入れれば、赤外線感知器でも仕掛けであるかのように、必ず、読みかけの新聞や本から、少しずり落ちた真珠鏡ごとに、チラと見る。一瞬のうちに、お客様の値踏みを済ますと、もう、まるで無視されたかのようだ。この駄洒落が、どの古書店でもあって、ちょっとしたスリルを味わう。固く漱んだ入口付近をつきぬけてしまえば、少し湿っぽく古めいた雰囲気に心地なじみ、自在な動きを取り戻すことが出来るが、そここのぞいてみたいエロ写真などは“あるじ、の横に置いてあつたりして、入口での一瞬の値踏みのスリルを通してあとは手も足も出ない。特別の貴重書をもたない小生などは、あてもなく財布の中ほど、自分の興味との天秤を測るだけだが、ときどき、探しあぐねていた本が、なに気なく積み上げた“その他雜本”の中にあつたりして雀躍したりすることもある。それでも、こみ上げてくる笑いを無理やり押し込めて、きたなぞにホコリをはらったりして、「つまらん本だけど、賣うどくか」てなぶりをして、びっくりするほど安い値のつけた本をまだ切ったりして---。

小生は、最近、古書店である本と衝撃的に出会った。いつものように、昼めじあと、プラッと近くの「古書店つのぶえ」に立ち寄った。昼休み時なのに、お客は小姓ひとりで、何やら手ぶらで帰るには「あるじ、に申し訳なくてぞぞぞしていたら、何やら私に呼びかけている本がある。見て脛が抜けんばかりに驚いた。私の叔父が昭和30年に、暮らしぶ手帖社から出した「ただん着の英國」がきれいに硫黄紙に巻かれ、花森守治さんの表紙も、すこしも20余年のくたびれをみせずに、そこによった。値段は300円。こみあげる笑いを押し殺しもできず、値切ることもあたわず、有難く買わせていただいた。旧友旧知にわぐり会う感じとは古書店の醍醐味だ。〈島田）

〈歴史・島田翼の本〉

「あだ人着の英國」 著らこの手帖社(絶版)

「山人亦」 蔡鍊

卷之三

と本にまつわる邊のなら何でも採用の方にござ
ることあげます。

今日の催ごもの コーナー

4月はカセットフェアです。リンクガ
フォンやランゲージサービスのカセッ
トテープをそろえています。あなたの
耳で世界の言語をお聞きください。

「神文読書手帖」の波紋

昨年11月に当店で作成した「神戸読書手帖」は2000部印刷して現在300部を残すだけになった。自店での宣伝もなく、これだけ読まれ、利用されるとは、作成した僕自身が予想できなかつた、大きな期待を超えた反響であった。しかし、その内容はどうか、どうとばらしても楽観できるものではないと僕は思う。



ふるさとのつ

◎接人
本組運動

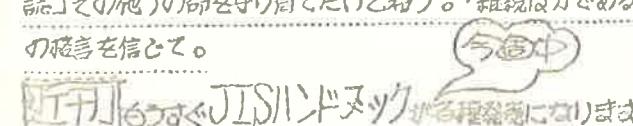
あなたの母校に本を贈り
ませんか。あなたの愛が
母校の子どもたちに届き
ますよ。方法は簡単、当
店宛に、ご希望の図書
をお申し付け下さい。各
図書一冊ごとに贈呈者名
を記入したシールを貼つ
て母校に納本。あなたに
は学校から受領印をいた
だいて下さい。

本家の悪魔小説論とは、1) 地域性に富むもの 2) タイムリーに読者をひきつけること 3) 多様化された読者意識を幅広くカバーすること 4) 自己の特徴を宣伝し、イメージアップにつながること 5) 最大限の読者参加、等が具備されるべきであると僕は思うのだが、この点から「手帖」を観れば、「手帖」は静的でありすぎ、広範な読者をどうえされないところがある。でも、それはそれで良い。

全国の菓店から「うちでも作りたい」という声を聞いて、「手帖」の残した洋菓子の小さからざることを、僕は読者のために素直に喜びたいと思う。

実際こうした手帖は一書店のワクを越えて、各地営業に作られるべきであるが、現実はむずかしい。ともあれ、「手帳」が多く地域で作られる二つの要因をもとに、つくられるであろう。

それに対して、本来の書店情報誌の行く手はまだ暗い。この暗がりの中で僕は息をひそめて、この生まれたての「情報誌」（あるいは「PR誌」とその他）の命を守り育てたいと希う。「継続は力である」という誰かの格言を信じて。



庚子

英様はただいま受付中で
す。2階レジにてお申し
込み下さい。

カット・小林

神戸読書アラカルテ NO.16
540423
〒650 神戸市兵庫区元町通3-146 海文堂書店 (画)



書店24年生の反省

—店員は店の顔—

木々の語らい、草木の囁きの聞こえる季節になりました。花に惹かれて、山野に出かける人も多いことでしょう。

さて、本屋は、この時期は、一年中最も忙しく、猫の手も借りたい状況で、学校の教科書供給を中心に新書、参考書の販売、お祝い図書券の発行、学年雑誌の切換え手続きとかに大わらいで、イレギュラー番組の捌きにぼうぼうの態です。想えば、本屋で働いて24年になりますが、よくまあ無事で、この時頃、内心的に社会的責務を果たしてこれに事と我ながらあとろく次第です。ややオーバーな表現ですが、天罰地とも言うべき、様な事件を多々ありましたが、かえって單細胞生物が身を抜けたのでしょうか、無事解決に当つてこれました。

ひと昔前までは、本屋といえば、復興、宝文館、田に隆文館、百文館、晨文館、新開地に福井文冒堂、隆司書房、神文館、漢口堂、神戸駅前に丸善、盛文館、元町通に日東館、宝文館、尚文堂、漢文堂、大丸前に来て、オールスター書店、東海方面は、宝盛館、南天荘、中央堂、六甲堂、これ以外は三宮で阪急百貨店書籍部が忙っていました。デパートでは、そごう、大丸、三越も書籍の扱いがありました。ざっと数えて、このぐらいが、神戸の書店図でした。

今では、神戸市立展にともなって、垂水区から兵庫区まで、同様にはあるのでは無いでしょうか。小生の住んでいる姫子高台の住宅地で、バス通りに面して300米の区間に驚く程、約15坪くらいの新興書店が4軒も誕生し、よくまあ経営されていること、を感じしております。

今、書店業界では再販価格問題で、大いにゆれてています。これからは本屋次、ますます、その存在が審判視されますし、自力で、読者のための店づくりが必至です。私どもの店も器が大きくなることを、益處にこれらの対策に取り組んでいます。この前もこんな事がありました。ある紳士が、市内の書店を散軒廻って、本を探されたが、当店では、「未発行です。」とお答えしたところ……紳士のわく他の書店へづれもが、「品切れです。すぐまた入ります。」と言われたとの事、どちらの言葉を信用したらいいのか?とのお叱り。もっともな事で本屋の威信(?)に賭けて、小生意のために、紳士を前に東京の版元に電話を認めたところ、やはり約1ヶ月後に出版刊行されるこ

とがわり、やっと紳士が納得されたものの、実におどろきの悪い思いがしました。と同時に弁解がましい事ですが、本屋は店員一人一人がもっと勉強する義務を任じ、店員の顔は店の顔という自覚を持ち、出来得れば、誇張するようになつてもらいたいと願います。これらの事件は、小さい一端ですが、どの本屋も一日何点と云えないほど、新刊を、めくるめく洪水の如く、本棚に納め、加えて、アリバイトの配置と共に追われ、けっして、お客様各位に満足を頂く条件になりませんが、事実でしょう。これらが、直筆率な回答なり、事なかれ主義的な事件を誇張する由でしょう。他山の石として、私どもは小事と流さず、より充実した店の顔作りに、お客様にとって、情報収集の提供、探しやすさの本の配置、コンサルティングな店員、プロムナードな店として、恥かしながら、小さな努力を積んでいきたいと思っています。(S生)

“コンビネーション”

つつみ たがひこ

あなたは、着いた
—ひび割れた時間の中で
虫が卵を生む。
馳せた時間のなかで
猪が卵を産む。
寝た時間の中で
私は卵を捨てる——

あれから四年
今だに私の領域は
惡意に満ちた永遠の獣人

二人で見た大空の
経目を探していくたら
どうしようもない カミソリの乱舞
その時
心に涙が 兼ねていた



リースブック

専門店

紹介します。



▽ 葦原区

二宮町1-20

三室堂書店

▽ 長田区

庄田町20-30

長田書店

桧川町1-1-2

丸山書房

川西通5-6

田中書店

▽ 須磨区

小寺町3-8

新生書房

▽ 兵庫区

上沢通6-9

まこと書房

東山町2-159

中島書店

西出町228

長谷川書店

上沢通8-74

浜野書店

▽ 潤谷区

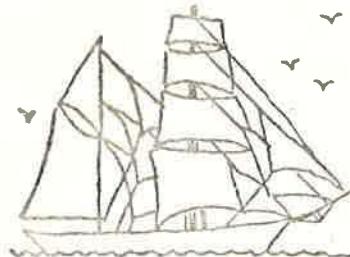
泉通4-8

() づみ書店

尚、新しくリースブックの店を始めた方は、一度
神戸貸本研究会にご相談下さい。

神戸読書アラカルテ NO.17
540430

〒650 神戸市兵庫区元町通3-146 海文堂書店 (西)



「この胸に光は消えず」

—大石邦子さんのこと—

数年前の11月の或る日、車椅子に座られた2人のお客様をJ店にお迎えした。詩人の田部信さんと大石邦子さんでした。私共の店は、幸い商店街に面しており、通路も比較的ゆったりしているため、車椅子のお客様も珍しくは無い。田部さんと、店の者が旧知でもあり、店内を案内させていたいのに。その事が、大石邦子さんの「この胸に光は消えず」に書かれている事を知らされておどろいた。

—海文堂書店の皆さんにもよろしくお礼申し上げて下さい。病んで初めて入った書店というものです。長年の夢が叶ったのでした。あの素敵なお店、忘くません。—

(136ページより)

大石さんは、23才の夏、運動中のバスの中で、急停車した際に事故に会われました。それから、健康体から一瞬のうちに両下半身及び、左上半身弛緩性麻痺という重い十字架を背負い、14年間、言語を絶する闘病生活のなかで、ただ1つ残った右手で、ひたすら孤独な、至純の魂を経りました。極限の人間の生きざまは、同情とか、あ淚ちょうだいを、きっぱりと拒否した。大石さんの眼を通じてみた、人間のありようは、昔からの人間と人間、人間と自然の根源的なあります、しっかりとつかめています。大石さんは、悲惨な闘病生活としてではなく、彼女をとりまく、人間愛の記録として、実に様々なことを、玉体満足でありながら、不平不満の絶えない私共に教えてくれました。

田部さんも、大石さんも、今なお、病いと不屈の戦いを挑んでおられます。心して、お体のゆ不自由な方にも、喜んでいただける応待を心がけたいものです。(島田)

—大石邦子さんの本—

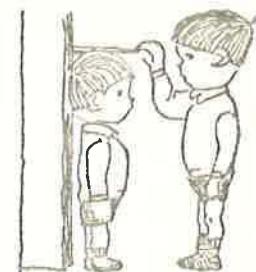
- ・この命ある限り 講談社
- ・この愛なくば "
- ・この胸に光は消えず "



創刊誌『使者』雑感(1)

つつみ たかひこ

『使者』と題する季刊誌が、小学館より発売された。海文堂に限らず、一般的な傾向としてどの書店でも文芸誌の発行は難いが、『使者』はよく売れている方である。



ユニークな内容の『エピステーメー』が5月号で、10年近く続いた『季刊藝術』が7月号で、廃刊になっていく状況のなかで、集英社の『昂』^{あがむ}が、隔月から月刊になり、そしてこの『使者』が創刊された。野間宏をはじめ、井上光晴、森田浩一郎、真継伸彦、小田実が編集している。第1号を手にしてみると、特集は「戦後文學の明日」となっている。戦争を知らない私は、「今さら戦後文學?」という気持ち多少なりともあるのは否めない事であるが、あえて「戦後文學」を踏まえながら、『使者』のいくつもの作品をピックアップして、筆を進めていこうと考えた。

先ほど私が、「何故卓犖文學?」と考えたのかといえば、私にとって「卓犖後」という観念が、安部公房の『忽然えつきに地図』の最後の文章からずっと停滞したままだったからだ。

—今までもなく、戦後は夙く夙く終わっているのであった。—

今思うにこの文章は、安部公房でなければ書けぬ文章であり、本当に理解できるのは戦争体験者だけであろう。

さて、井上光晴が、『蠅』という短編を、この『使者』に載せている。森田光一によれば、「井上光晴は『ヤタルカナル戯志集』における天皇制体験の癡塔、『地の群れ』の重層的人間社会、さらに『地の夏』に見られる多角的な現実把握の方法の開拓に本質的な意味が詰まっている」との事だが、その方式においてはめりれば、『蠅』という作品は、現実も人間も、重層的、多角的に把握されているといえる。しかし、井上光晴を批評するに、こんな陳腐な公式を持ち出す事は滑稽な事だと思えるが……

『蠅』という短編の筋筋を述べる。

—蠅に襲われて青年が死んだ。長崎県では、死の原因は突然的ないに戦障害、もしくは、農薬散布の操作ミスと発表したが、農民達は蠅が人間を殺したと信じていた。かつて犀川という男の家の近くの農業工場の焚煙で昔は蠅が馬糞一杯死んでいたのに、最近では死なくなってしまった。反対に人間が、足から次第に全身に及ぶ痙攣に白眼をむきながらのたうつ症状を呈するようになった。犀川の妻が悶死した後、彼は蠅を餌うようになった。その蠅はもはや農薬にも死なぬようになっていた。保健所の人間が、彼の家にやってきて、蠅を焼くように命令するが、彼は趣味で蠅を食っているのだと云々張って取りあわない。そして、彼は今夜も犀川に農薬を食べさせて、蟲に対する抵抗性を持たせている。—

(つづく)

神戸読書アラカルテ NO.18

540507 神戸市中央区元町通3-146 海文堂書店 (運)

本屋の侃侃語

先日、見るともなく新刊を見てるとこんな記事がのっていた。某書店での話。この書店さん、立ち読みやそれにともなう本のイタミにはとほど手を焼いたようで、ついに次のよつた表示を店内に張り出しちゃうです。言わく、『ここにある本はまだ貴方のものではありません』、まさに痛恨限りの一言。これだけのことを書かれたら、いかに本屋泣かせの立ち読み人間と言えども少しばかり遠慮してくれるに違ひない。但し新刊には結果の方は向とも書かれてなかったので想像してみるとありますか。あるいは馬鹿真似、馬の耳に金仏で仮の結果もなかったかも知れない。悪くすれば、読者の前には何と生意見！ と横を立てて方を走らかとれません。

だが、皆さん一寸待って欲しい。私には同様の者のひとりとして、この書店さんの気持ちがまたことに良くわかる。というのも、毎日私たちが立ち読みにどんなに悩まされ、苦労していることがよくある。本屋といつのは、どこでも大ていセルフ・サービスと決まっていて、読者が本を手に取り、ゆっくりと見当で選んでもらったら結構なのです。

私たちが言いたいのはただ一言なのです。『もとと本を大事に』これがだけなのです。まさか誰も自分の家の本棚をこうもひどく扱うことはないでしょう。手にした本はまた元あった場所にもどすではないでしょうか。それが何故本屋に来ると、こうを本の扱いが変更するのでしょうか。皆さんの人がそんなにも本棚に変更するのでしょうか。まるでジキルとハイドなりの変りようじやないですか。文芸書が歴史書の間に、あるいは経済書が外国文學の間に、ひとりになると本と外箱が全く異なる売場に放り出してあることと時代の雑誌の棚などそれにそ見るも無惨な有様です。一体全体これはどうしたことでしょうか。皆さん、自分の家では、本は台所に、外箱は廊下に置くんでしょうか。まことに変わった整理の習慣をお持ちですね。ぜひその理由を教えていただきたいのです。

そう、貴方にはその本は不要なものかもしれません。でも別の誰かはその本を貰っているかもしれないのです。その人にとったらその一冊の本はまさに貴重なものなのです。誰も汚れた本やイタんだ本を見て良い気はしません。自分の扱っていた本が見るも無惨な状態で放り出されいたらどんな気持ちがするでしょうか。そこ貴方がそんなことをしたら、それは貴方が誰かを傷つけたと同じことです。誰も人を傷つけたりなんて思ってないでしょう。むろん傷つけられるのはおさらです。

どうでしょうか。今度、貴方が本屋で本を手に取る時、もしかしたらこの本を誰かが扱っているかもしれません。振り返ってみてもらえないでしょうか。そうしたら、今まで貴方にこって何の変哲もないすらすらの一冊であったものが、不思議な魅力をもって貴方の前にあることに気づく筈です。そうしたら貴方にこそ本になるかもしれません。——と、まあ貴方の良識とやさしさに期待して、本屋へ飛び去るこれまで。

(説明)

2つの増刷・重版

増刷したりておりました次の2点
が増刷・重版になりますので、お買
いもの方はご注目ください。

『国史大辞典』第1巻

吉川弘文館刊の最新の研究成果を
もとにした歴史辞典の決定版
です。総項目42000、日本歴史
の全貌を網羅し、さらに國史講義の
分野にわたる必須項目を悉く収めて
います。定価=8800円

『5月の出版出来』

『古色大和寺』

佐藤社刊。入江景吾さんの写真集。
本書は、失われていく大和の古色を
たどり悲しみの日々を詠ね書き、カメ
ラによる昭和45年ご初版を発行
して大好評を博したもののが重版です。
今回は少額改定版です。お早目に
お申し込み下さい。 定価=3万8
00円

『5月下旬出来予定』

情報

ヨコヨリ、流し見て、こんなこと一

『さく・ばらん』

■ その1、『山水塾』といつのがありますと
て、ここが会員を募集中です。ここは
歴史と文学を語り、人生を考えるより
どころを作っていく塾。講師は松山悠さ
んです。毎月1回、第3火曜日、午後6
時から8時30分まで。詳しくは主催の
『日本風土記の会』までお問い合わせく
ださい。

■ その2、『船と港の写真展』といつのが
現在開催中です。期間は5月13日まで
で、場所はポートアイランド北公園内
美術館。これは客船・カーフェリー・コ
ンテナ船・貨物船・タンカー等の写真と
模型を展示したもので、ちょっと異色で
すよ。珍しいものもいっぱい、興味ある
方はぜひお立ち寄りください。

■ その3、海文堂の5月のフェアがいよいよ始まりました。『酒と薬学のフェア』
です。エッ、『オレにぴったつ』だつて、そうですか、良かったー。ウケの店
の酒好きが企画いたしました。(ご注意
・会場の酒は飲まないでください)

大学生協調査「本について」

大学生協連合会はこのほど「本について」の調査を実施しました。その結果をかいづんで、ここに報告します。この調査によりますと、学生たちが一ヶ月に買った冊数は平均で7・6冊、金額にして43000円強。書籍の購入金額の分布では1500円～3500円がピークで28%、本も高くなくなりましたネ（イヤ、独り言です、ハイ）。私たちに興味がありますのは『本を買う時の順序』、これを見てみると、△店頭を見て、この層がトップで70%、▲教師・先輩の紹介、が26%、▲新聞・雑誌の書評が22%と続いています。こう数字を見ていきますと、案外、書店での本の考え方、POPの大功ですが、生き影りにされているようで身が引きこまります。

カット・小林

神戸読書アラカルテ NO.19

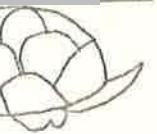
540514
SOGO 神戸市立教育研究所から、次の2冊の本が発行されました。同研究所では共に品切になつて「現在増刷を考えている」ということです。それそのはず。先生方の努力の成果が、写真に、図版に、文章に凝縮されて非常に見事な内容の本です。自然科学のジャンルでもちょっと珍しい本、一度ご覧ください。

かたこの 読書短信 「太陽の子」 灰谷健次郎さんのこと

今年の講演会の一つに「太陽の子」が選ばれた。恒例の読書感想文コンクールは、力不足半ばし、余り好きではないが、これを機会に、「兎の眼」のベストセラーで当代随一の人気作家に躍り出た灰谷健次郎さんの（著者自身の言葉を借りると）「兎の眼」を超える作品である「太陽の子」が、また多くの読者に出会うことを、素直に喜びたい。「兎の眼」は四年間にわたって、ジワジワと読みづれ語りつかれ、口から口へと感動が伝えられ、今年になって爆発的なブームをよんだ。ベストセラーとしては珍しいパターンであった。私は、1974年の最初の出版のために、当時児童書のヌックドライバーをお願いしていた高峰豊子さんに推められて読み、感動した。でも、灰谷さんの作品はそれ以後読むこともなくすぞじてきたり。今年の三月三日に、海文堂書店の主催で灰谷先生の「講演と座談の集い」を計画したのを機会に「太陽の子」も読了した。お目にかかるのに知らなくては具合が悪いから、といついさか疚じい腹が立ち読みはじめたのに、すっかり魅せられて「兎の眼」以上に感動を受けた。

日々、用事があって灰谷先生のお宅へ電話をするといつも感心することがある。お留守の時に、必ず留守電がされられて親切に応待してくれるのである。「沖縄に旅行にいっています。1月10日に帰ってきます……」「ちょっと近所まで出かけています。すぐ帰りますので……」、その都度改ざこまれるのである。まさに、相手の立場を考えたいきどいた配慮で、「やさしさの作家」灰谷健次郎の面目躍如である。

また、業界あげて、灰谷さんを、講演・対談・サイン会と引きずり回したよつたこの頃で胸がいたい。そろそろ「太陽の子」を超える作品を醸成していただきたい。そして、「作られたベストセラー」これまで通り風潮の中で、やはり「兎の眼」のように、語りつかれ読みつかれる作品を期待している。



新しくできました。県内の新刊地形図。

■ 2万5千分の1	■ 5万分の1 (畿内)
日生 修正・3色	宮津 修正・4色
網原 修正・3色	岸和田 修正・4色
周防 修正・3色	粉河 修正・4色
和歌 修正・3色	五條 修正・4色



※ 地形図は2階売場にて販売しております。

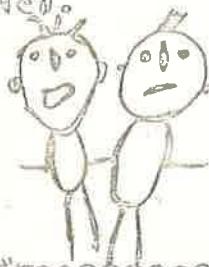


郷土の本

神戸市立教育研究所から、次の2冊の本が発行されました。同研究所では共に品切になつて「現在増刷を考えている」ということです。それそのはず。先生方の努力の成果が、写真に、図版に、文章に凝縮されて非常に見事な内容の本です。自然科学のジャンルでもちょっと珍しい本、一度ご覧ください。

兵庫の断層をさぐる 廻りのかたつむり

※均一定価は800円です。



今度の本だと00000000 もし紙がなくなったら

「もし紙がなくなったら」は、昭和一ヶタの廻物学者が書いたユニークな本です。新聞社はち廻商の回収責任制一出版社は専分本の販賣を止め、図書館等に寄贈せず一等々の提案から、再生紙の効用など、紙にまつわる数々の読物で読者を魅了する裏表のイッセイです。一見の価値ありと思います。(5生)

TOKK (トック)って知っていますか?

TOKKって知っていますか。阪急電車が出している月刊誌のことです。「神戸まつり」「いちご狩り」「美術館案内」など、沿線の楽しい話題でいっぱい。これも確かに情報誌ですよ。

本屋の ビール色の本

帰りの電車の中で、文庫本の小さな活字を読んでいる人によく会う。あちらではスポーツ新聞、こちらでは「ノンノ」を広げた若い女性、何かいの男はポケットに「ポ・パ・イ、をめめてねじこんでいる。日本人の活字好きには人事ならず敬服してしまう。本屋の僕の前に大変ありがたい光景と見る。自店のブックカバーを見ればなおさら愛しさが薄り、親近感が湧いてくるから不思議だ。

読み方にもさまざまある。電車の席に座ると、カバンからおもむろに本を取り出して、読み出しこそするものの10分ぐらいでいつもダウンしてしまう意図等弱る僕にとっては、暗い光の中で活字を追っている人たちの姿は心から敬愛できるものである。

僕は、熱中しない限り(この頃は熱中することが少なくなった)、電車10分、バス20分、フトンで30分ぐらいの読書量。読む時も、本を大切にきれいに扱おうなどとは思わない。手あたり次第の筆記用具で線を引くし、余白に書きこむ。ページを折り込むことを何とも思わない。ブケの本や、ショウゆの本、ビール色の本など、本をめくれば、なつかしい思い出のあるシミに心がなごむ。本を汚すことなく生きがいを感じている風である。バカ足ではないが、こういつぶみ方も現在は読書法の一つに加えられる資料があるように思う。本を自分の命にするためには、人はさまざまなもので、パンで、ブケで、ショウゆで、ビールで自らの運命を刻む必要がある。嘘、僕の場合、ビール色の本が余りに多すぎて、本の方が酔つてねている有様で、ちゃんといい気もするが……。



(小林)

カット・小林

道刊 読書アラカルテ NO.20
5月2日
1950 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店発行 (電)

わたくしの島尾ミホ「海辺の生と死」

曾经を夫の妻との地獄的な日々を熱烈に描き続け、我々読者の手で家庭生活をぐるぐる動かし、「夫婦の半とはいったい何か?」など、切ないほどに叫び詰めざるをえなくする最高の小説。それでいて、ギリギリの處で読みどまる女の狂いばかりの娘と、窓の外しささ。深層地獄の深みの中で、いつしか憎悪と同情の境界線が消失したり、「カティンジジョウ(夫婦の詩)」が豪華的儀式にまで淨化されてみえたりする、滑稽い「死の歌」を書き、昨年の高麗文学賞と日本文学大賞を受賞した島尾敏雄。その奥さ

「の森」の主人公も、裏側から
争うという下級の勘ぐりで「海辺の生と死」を書いたので、期待は裏切られた。当り前の話だが、
前める妻の姿はそこには無く、南の島の陰蔭から確かな感性で語りかける一人の作家の筆があるだけ
だ。最も興味を惹かれたのは、敏雄の「出發は遂に討れず」で、發進命令を受けた持攻隊員の勇氣を、
最初に表されて「死装束を着け絞殺をはき腰剣をかくこもったトエ」が遠くの集落から響いてくる
印象的な場面が、そつくり、トエ、即ち島尾ミホの側から「その夜」という掌編にみれていて誠に興
味深い。集落の人々が集団自決へ向かう夜、独り、浜を走り、豊饒の眼を離れて、石だらけの浜の
上を何往前進し、両腕、両足を擦れて傷つき、臍臍とこなげと海辺を走りゆく。

おきませば如那が形見の短剣で 置が命離たんとぞ思ひ

これがほんとう的といふ月並みな言葉では表現できない、デモニッシュなパッションを纏ったミホの
筆に、少しあは初めて「死の歌」の常軌を逸した、妻と夫の確執を早く綴を見り出した。

彼、彼の無限地獄、奈落に落ちこんだ島尾夫妻は奄美大島へ渡り、約20年後、ミホの「海辺の
生と死」が出版された。敏雄が序文を書き「死の歌」の説く痛々しい少年・伸三(小説では伸一)が
絵画を加えた、島尾家の家族共同作業である。「死の歌」の余りの喜びに圧倒された私のような俗
人は、この事実だけでも、何か心暖まる思いがしてしまつ。

著者記 この本は、田村俊子賞と毎日本文賞を受賞しました。

6月のフェアへ予告

海文堂の6月のフェアは「限定本・原画本フェア」です。
まだ計内にだいて、今年も、と思って、がんばって11月の
前半、すこちがむづかしいです。出版社の名前を取っている
本も、豪華で豪華で豪華な本が多いのです。でも、中にはキミの目をさせてしまう力がある本もあ

読書110番

ちょっとお聞きしますけど…

本はコピーえていいですか。

答) 本のコピーそのものは別にかまわないと思いま
す。ただ、それをどう使うか大きく違ってくるのです
レコードをカセットにとって売るのが、違法であるのと
同じで、本のコピーも、自分で使つためならいいのです
が、営業を目的としてなら、著作権者の許可を得なくて
はなりません。営業が目的でなくても、他人の文章はと
の旨明記するのが儀です。

郷土誌のひょうご文化

「ひょうご文化」は、兵庫県文化協会が発行している郷
土誌です。今年の4月に、21号をむかえました。21
号の内容を見ていますと、津名郡一宮町長田の「首なし
地蔵」の話、ともじびの賞受賞団体の紹介、四月のア
ート・ニュースなど、県内の文化の状況を独自な視点でと
らえています。あなたも会友になって、この雑誌を読ん
でみませんか。

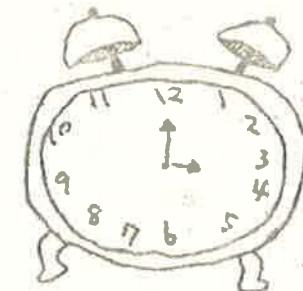
会友になるには、下記まで、郵便振替で年額1500
円を送ればいいそうです。

申込場所

神戸市生田区下山手通4丁目、県民会館内
財團法人・兵庫県文化協会

(西)

郵便振替口座・神戸926番



本屋の書店用PR誌の効果

読者の方はご存知あるまいが、出版
物・書店に流される情報は思いの外
多い。カタログの類、販売の案内、セ
ット・商品の案内、売上の統計、などなど
と、キメ細かく位成れてくれる。

案外、書店向のPR誌(ほとんど
が、自家のオススメ本の紹介が多い)
に、何となく弱い。自主性のないせい
かなども思うが、モノで売れていると
書いてあつたり、能が書の美術にはだ
されて、ついウケてもといふ風になら。
だが、もしかしたらと思って仕入れて
も思うように行つたタメシは少い。経
験上、PR誌の読み方を覚えてくると
自分の目が一番大きくなるのに思えて
きてムリをしないようになる。(実際
は、ハズレることも多いのが)

PR誌の効用は、本のアウトライン
をたださごむのには有用だが、それと
仕入れとは一応分離して考えないと、
書店は自主性喪失させてしまう危険
があると思う。

大手小数

連刊 読書アカルテ N021
6月3日

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店発行 (連)

井上泰山水の モーツアルトの幼少年期作品について へ井上泰山水のことへ

井上泰山水の論文を読みたいと欲する者は、三十余万円の大金を払って、この僅い原稿用紙5枚の小文を掲載した本(?)を買わねばならない。泰山水とは何者か? 何故にこの論文が、かくも高価なのか? たかだかモーツアルトについて書いた僅か2ページの小文に、そのような大金を使つて読もうといつ、音楽馬鹿、ウスラバカは存在するのであろうか。読者の卒直な疑問に答えよう。そのようなウスラバカは存在しないのである。しかるば、何に故、中央公論などもあらう大出版社がこのよくな論文を、かくも高価原本にしたのか? 答は簡単。この論文は、中央公論社の画期的な「モーツアルト大全集全十巻」三十余万円の発刊を記念して「著者のモーツアルト論」のコンクールの一席に入賞して、第2券の付録として、どこに入っているのかわからぬほど、うすいパンフレットとして挟み込まれている論文のことである。しかるば、泰山水とは何者か。何に故、私にとつて、この論文は大切な意味をもつのか? 井上さんは、現在、神戸府立大学商船学部で経済学を講じている助教授である。彼は神戸大学で、私の三年先輩。同大学グリークラブで二代前の指導者であつた。当時から、合唱馬鹿の私どちがい、ヴァイオリンも弾き、音楽だけない、芸術全般に深い造詣をもつておられ、「音楽上における感性と理性のちがいについて、などといつ、難解な話を目を白黒させて詳説したものだ。私はこの薄せたソクラテス氏には、この頃からの抜き難いコンプレックス(勿論深い畏敬の念を伴つた)があつて、神大グリーのOBで経緯している六甲男童合唱団の指導者として要請されたソクラテス氏が固辞され、すでに合唱活動から足を洗つていた肥った豚(もちろん小学生)に、ソクラテス氏が強く、就任を迫られ、断り切れずに引き受けてしまった経緯がある。このソクラテス氏は、時々練習に来ては、私の指導法をじどうもじうにしたうえに、私の最後のモーツアルトでも、さっさと、余人近寄り難い境地に到達してしまひ、小生を地獄へ追いやるのである。さて、この泰山水氏には、未完の大作「出でてなごのラブレター」である、モーツアルトのケルテット編がある。これは、ソクラテス氏が、第二ヴァイオリンを弾く「ダコレラケルテット」なる珍妙な名前の弦楽四重奏曲 下敷にして、モーツアルトの乙ろ曲に及ばず大なるケルテットを遺憾無尽に解剖しようといつ試みであり、これがまた無類に樂しいのだ。活字文化の末端に奉公する者として、音楽を愛する諸氏に、このラブレターをお届け出来ないのが痛恨の極みである。

ひねもむらくモーツアルトは遊動円木 止まらず光と影を彷彿

(島田)

本屋の目
フリに、ルポルタージュ雑誌「言葉と水」が創刊になりました。本多勝一、松浦桂三などが現代を活写するルポを寄せていました。発売はすぐさわ書店、定価350円・注文制。

創刊誌『使者』雜感(II)

「読書アカルテ」1ワ号では、『使者』に連載されている、井上光晴の『蠅山』の作品紹介で紙面が尽きてしまった。今回も、井上光晴を複数に話を進めていく。

私は『蠅山』を読んで、同じ彼の作品である『踏絶』に出てくる「鼠」を思い浮かべた。

癡狂になっている慈眼賤鉛では、どういう訳か三百匹の鼠の群れに生きた犬を投げこむと、アッピイフ肉を食い破られ、白骨になるまでしゃがられるのを自慢する、という場面は、『蠅山』のなかで蠅が人間を襲う場面とよく似ている。蝶とか鼠とか、人間が嫌う素材を使って、公害問題とか、癡狂地帯にお動物のようく住み続けている炭鉱病患者たちの問題を浮かび上がらせている。

人間の根源にあるエゴイズムや黒い憎悪等を混沌のままの形で我々に向話を投げかけてくる井上光晴にとっては、この不潔な生物が、人間のエゴイズムを象徴するのに恰好の道具となっている。

「現実の状況をどこまでも追いつめていくことによって、それを反対物に転化していく。どうにもならない状況、出口のない状況をえがきだすことによって、逆にその状況を解放する手段を発見する。自由をたたかいでる道をさがせだす。——それが、私の小説の方法です」とは、彼の言葉だが、私はまさしく『蠅山』のなかで、彼が解放する手段を発見する為了に戦っている姿を見出した。

さて、『使者』のなかでは他に、『蠅山』の細くぬいの道が面白い。六十年代の学生運動を主題とした物語で、次第に樂しみだ。

なお、海文堂書店では『使者』はすでに売り切れ、在庫はありません。出版社でも品切れのようです。『使者』第2号は7月15日頃、発売予定です。一この頃おわり (フフミ・たかひこ)

読書10番

問 小学生の子供が教科書を紛失してしまったのですが、書店にはいません、どうしたら良いのでしょうか。

答 小・中学校は義務教育のため、教科書は国からの無償供給で、新学期に指定書店から学校に納める仕組みです。紛失など、何らかの理由で入用の際は、学校の指定書店または教科書取扱いの書店に注文すれば大丈夫、取寄せもらえます。ただし、旧版はかなりかかるのが普通です。もちろん、この時は有料です。



障害児教育図書総目録
1979年版 ができました。

この目録は、幼児から成人にいたるさまざまの障害についての症状、診断、治療、教育、指導、福祉、技術、行政、研究等の情報を豊富に用意した最初の総目録です。ここには、約100社、910点の障害図書が掲載されています。

書店の立場から見ましても、こうした内容別の目録が順次整備されていくことは非常に喜ばしいことです。是非ご利用ください。カット小林

神戸読書アラカルテ

No.22
540618

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店 (電)

文芸書限定本フェア開催中です。

～海文堂ギャラリーから～

売場から、雑然とした作業場を通り、鉄製の階段をガタガタと上り、暗い廊下を歩けば、わが海文堂ギャラリーに到着します。誠に不便を申し訳けないのです。でも、面倒を承知で、店員へ案内を申し付け下されば、いまここで誠に珍しい文芸書の限定本フェアをやっています。

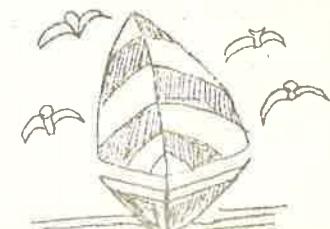
ゴロゴロと見たこともない美しい本がそろっています。希望者多数で抽選になつた遠藤周作の「沈黙」をはじめとし、古書店でも、値上がりしているものもあります。井上靖・辻邦生・丸谷才一・小川国夫・島尾敏雄・柴田耕一・中川一政・塚本邦雄・妻恒平・福永武彦 その他多数。おまけに、表紙を担当しているのが、司修・中川一政・池田善寿夫・板折久美子・横尾忠則といった超一流。世界に誇る日本の造本技術の展示会ともいえるのです。

すべて現品限り、一枚のみです。早い目に是非、ギャラリーへ。店員が御案内致します。

（島田） ミニ電話帳、「イエローページ・オブ・コウベ」

神戸市の若者グループが、このたび神戸市内のミニ電話帳を出版し、ちょっとした人気を呼んでいる。この電話帳は、官公庁、大学から公園、ホテル、レストランまで、市内約1500ヶ所の電話番号を掲載しているが、ユニークなのは、これらを、飲む・音楽・遊ぶ・神戸の祭りなど15項目に大別し、用途・目的に応じて利用しやすくなっている点である。例えば、「飲む」の項目では、スナック・バー・ディスコなどの店名、住所、電話番号が、その店の特徴品、客層、営業方針などのミニ情報を付けて紹介されている。

編集発行は、芦屋市橋道町1-20、藤原京邦さんら5人で構成しているグループ、「パウプランニング」、この電話帳のタイトルは、「イエローページ・オブ・コウベ」、横20センチ、縦10センチの大きさで、全62ページに文字通り、黄色い用紙を使っている。価格は、1部、250円で、発行元の「パウプランニング」では、さらに内容を充実して、今秋にも第2集を発行の予定という。



6
月

文学全集のこと・・・

小生が本の門屋で働いていた頃の事ですが、今から28年ぐらい前の古い話ですが、文藝出版の社、角川書店が発刊して空前の大ヒットを博したのが、「昭和文学全集」でA5型ケース入りで通常版は確か280円と記憶しています。第一回配本が横光利一著「赤穂」であり、第二回が山本有三、以後、寺田寅彦とつづき各取引先書店より、売り切れ続出の追加注文殺到で正に読書界に大セジセーションを引き起しました。想えばテレビもなく、ラジオを頼りに、カストリ雑誌の氾濫していた巷に、初の鮮やか本格的文学全集と云う事で活字に序々親しんできた大衆がどひついた所で今でも強烈に印象づいています。近年はオイル・ショック以来、文学全集も書店の棚より消え、なかなか、前に無い現状で、出版社も単価が高くつきすぎて危惧あり、刊行の断を降しがねていると聞きます。角川書店の快挙以来、河出書房・新潮社・筑摩書房等、有力版元が当時競争して続々文学全集を世におくり確固たる読書界の基盤復活をみた事からして、極めて角川書店の功績は讀んで余りあると思います。

尚、現今では新潮社で、文学館と金銭打っての、世界・日本の書専用、又は贈り物用の特選セット、恐いは、講談社の現代日本文学全集特選セット等、全巻一括購入の便がありますが・・・（ローンも可）内容編成のカタログをお取りよせになるのが良いでしょう。これから序々にお伝えになる向さには、新潮社・集英社など刊行中のものも併せてございます。単冊は1,200円前後です。いざれにしても文学全集は限られてきましたが、一昔前に比し、きらびやかな表紙装幀の本がどんどん刊行されています諸氏にとって、お気の向くまま作品を手にとれるという良き読書時代と云えるのではないかでしょうか？（本も高くなりましたが・・・）

（S生）

※こんどのボーナス ちょっと知的な買い物・・・

・講談社 日本現代文学全集・豪華豪華版 全38巻 51,300円

・新潮社 日本文庫 全45巻 53,000円

◎便利な海文堂ローンの御利用もございます。

☆あなたをあなたが占う 今人気の占いの本☆

青春出版社PLAYBOOK

「天中殺入門」和泉宗章 670円

占いを遊びとしてしか捉えられない人。占いを遊び半分の道具として扱う傾向にある昨今、真正面から人間の一生について、どう幸運をつかむかズバリ説く本として、今空前の話題をさらっている、ちょっと面白い本です。

主婦と生活社 21世紀ブックス

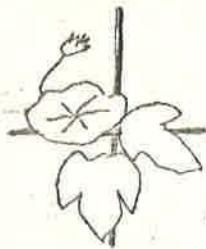
「糸川英夫の絶密占星術」680円

1億人には1億ケースの運命がある。占いは新しい人生へのかけ橋、時には気分転換に高級なホビーとしての手もある。人生を楽しくする方法としてとり入れ、心の糧にしてゆけば、申し分ないじっくり読んでみたい本です。

週刊
神戸 読書アソブノル NO.23
6月25日

〒650 神戸市北区元町通3-146 海文堂書店 (画)

貴志康一のこと——植村達男



作曲家貴志康一の作品集（「歌曲集」「バイオリン曲集」）が、彼の生前であり開創甲南高等学校（甲南大学の前身）の関係者の手で出版され、このことが對面の小さなコラムに出ていた。私は約17年ぶりに貴志康一という人物の名前を読んで読んだ。

昭和36年1月15日、神戸国際会館で催された成人式の式典のプログラムの後半に、貴志康一の名前があった。この日、バイオリニスト辻久子が貴志康一作曲の「竹取物語」を他の歌曲とともに演奏したのである。私は成人式を祝ってもらった多くの若者の中の一人として、広いホールの中をリンリンと鳴りひびく辻久子のバイオリンに耳を傾けた。それが「竹取物語」を聴いた最初で最後である。從って、メロディーは全く記憶していない。ただ、その時の清烈な印象と作曲者の「貴志」という高貴的な姓などが、何故か私の記憶の底に残っていた。

前述のエピソードは極く小さいものであったが、私は貴志康一について多くを知ることができた。彼はバイオリン曲のみならず、管弦楽曲を作曲したことや渡欧してフルトヴェングラーに指揮を学んだこと。「竹取物語」は湯川秀樹博士のノーベル賞受賞式の会場に流れた曲であること等々である。

私は是非もう一度「竹取物語」のメロディを耳にしたいと改めて思った。この思いをこめて、私は昭和52年12月21日付日本経済新聞のコラム「文化往来」欄を切り抜いた。そして音楽劇場の切り抜きをファイルしてあるスクランブル帳にとじこんだ。

それから、一年半経った。貴志康一の名は、この間2度も私の前に現れた。朝日新聞発行の「日刊高校物語」の一分冊の中の甲南高等学校の欄に数行の余話があった。また、テレビのモーニング・ショウの様な番組では米朝と辻久子が貴志康一の業績や思い出を語っていた。私が再び「竹取物語」を耳にするには刻々と近づいて来たのですかろうか。

シリーズ・案内 教学社…大學入試シリーズ
大学進学をめざす学生を中心に毎年好評の全国大学入試問題対策として別冊赤本、又オレンジ色のパスポートの新形で、多くの先輩合格者に親しまれています。我が国の大学および短期大学は940校余を数えますが、本年は約230校の新刊行を予定し、①大学案内、②入試ガイド、③傾向と対策、④問題と解答・ヒントの4項目をポイントに編集されています。現在精興出版社として「政治社・関東出版社等がありますが、発行点数・知名度の面から、赤本は鮮をめりています。(大原)

雑誌2誌を比較する

「アンアン」VS「ソンノ」アンちゃんはソンちゃんに負けている?
新「アンアン」が月4回の発行になり、値段も240円と安くなった。新「アンアン」が発売されてから2週間ほど過ぎたころ、会社に電話がかかってきた。「アンアンの売れ行きはどうですか?」私はてっきり平に出版社からの電話だと思い、次のように返事をした。「よくありませんね。良いところにおいているんですけど、パンどじませんね」私の階級的な返事に、電話の相手は「なるほどね」とこぼし絶句。私は意地悪く、「ソンノのする映画に負けているんですけどね」と追いつをかけると、明るい声の返事。「ありがとうございます。これからも京英社の益々よろしく」。今度は私がしばし絶句。この電話は、ライバル誌の発行が配り京英社の担当がかけてきた電話だったのです。

「アンアン」は昭和45年3月3日創刊で発行部数は推定で40万部。「ソンノ」は昭和46年5月25日創刊で発行部数は推定70万部といわれている。海文堂でも、同じようにその差はまだ大きいが、「新アンアン」になってからはその差はすこし縮まってきた。私は男性なので両誌の内容についてあれこれ書くのは苦手なので、当店のファンブル・ガール達に意見を聞いてみた。要約すると次のようになる。①「ソンノ」のファンション情報はわりと一般受けするが、「アンアン」の場合は裏用性が高い。②「ソンノ」のシティ情報は広くカバーしているのに比べて、「アンアン」は京阪神の情報などが弱い。③「アンアン」のイメージエンジは、現代の経営観にフィットする、綱領次第で今後に期待が持てる。

その他、いろいろな意見があったが、私はそれと別に次のような事を思った。「アンアン」とか「ソンノ」という雑誌は従来の雑誌とは違った形で読者と関わっている。読まれる雑誌ではなく見る雑誌である。消費時代にふさわしい消費雑誌である。例えば、アン・ソンをしてしているのも一つのファンションと呼べるかもしれない。これは違うべきことであろうか。

話は変わるが、雑誌の実情とか内幕に興味のある方には日本工業新聞発行の「雑誌大研究」(1200円)を勧めたい。この本を読むと「アンアン」「ソンノ」は物論のこと、日本で読まれている雑誌の赤裸々な姿がよく描かれている。この本を読んでから雑誌を読むと今まで違った面白さが得られると思う。(つみ・たかひこ)



プレゼントのコーナー

「絶対の時代」「絶対の時代」等の著者として日本のビジネスマンに根強い人気のある経営学者、P.T.ドラッカー教授が日本の芸術、特に美術に造詣が深いことは余り知られておりません。しかし、40年来日本美術に深い関心をもち続けてこられた教授がはじめてあきらかにした "A view of Japan through Japanese Art" 全翻訳版「日本画の中の日本人」(非売品)を3冊に限りご希望の方に差し上げます。——カット・小林——



吉本修三
(神户市垂水区在住)

朝もやの中で静かに立ちする極細の竿子を凝視する釣人、以前ならば使い古しの洋服を着て釣場に通った人々も、今は赤・青・黄など色とりどりの布でやわらか服装。昔と大差がなくのは池を取り巻く自然のものが残る気がします。

筆者りは漁に始まり漁に終るとよく申しますが、魚釣ぐらい入力しやすくて奥の深いものはない様です。小学生、それも低学年の子供が友達と樂しく釣糸を垂れているのを見ると、私が2歳からるまぐらの一本竿をかつき日向道を歩いて通った頃の方がつい先日の様に思います。私の生まれた時は、神戸を縮小した様な東西に細長く、すぐ後が山で前が海と云ふ屋道ですが、温暗の地神戸と違うのは東港といつ日本一恵まれた釣場のないことです。神戸程釣場に恵まれた土地は他に類をみません。海側では春の釣は南からなどと申しますが、産卵は海岸近くの養豚用水の池から始まります。南の方は釣場としては、新幹線とか道路とか、住宅の床外造出などで自然環境を破壊されたところもかなり目立ちますが、たくさんある池の事ですから次第もまだかなり残っています。国道2号線より北上すればするほど環境汚染の跡地がめじろ押しです。田んぼに廻された池ではレンゲの花を眺めながら空に遊ぶ雲のさえずりを聞き、丘陵地の池では土手にゼンマイ・イタドリが生え、後の数日には鳥が飛来一時間の仕事の疲れをいやしてくれます。山池に行きますと人の声もなく池の面に映る山つつじの花や草を振りこむ度に描れて別天地に居る様です。釣のベテラン諸兄はこの様に申し上げますと自分の好みの釣場が次々と浮かんで来る事と思いますが、いつまでも樂しい釣をと願っているのは筆者のみではないと存じます。釣場を美しく、気持ちのよい釣場を創りたいのです。

◀シリーズ・案内 ▶ 講文社「エアトマップたべあるきシリーズ」

多くの食べ物記入に関する書籍のうち、とにかく手軽で、見て樂いイラストカードマップ。現在各分野で活躍中の出版人・食通を執筆陣にむかえて、いい店、感じの良い店、一般におまり知られていない店場情報などを、10万分、1万分の1の地図を添え、色彩豊かに、食味の思い出願葉をちらりと紹介。結構大人が一日楽しめる本に仕上がっている。店名だけではなく、住所・電話・営業時間・定休日等を明記して、巻末には料理内容が一目でわかるシンボルカラーを使用してわかりやすさは◎。
現在、大阪・東京・京都・神戸など4地区が刊行されており、購読者の8割が女性となると、「フム、さあありやん……」。県外からの旅行者にも喜んでお褒めできる定価800円のちょっとユニークで豊富な本です。(いやへ、マンプケ、満腹。)(石原)

美食鳩ひて悪食に至る



食に関する本の出版が盛んである。それも台所の実用性一点張りの本よりも、美味求真、食道楽の極限を追求した進の文学の比重が高い。「読むする子供の前で、文學は有効か?」という高踏的、根源的的傾向に変えて、「飽食の讀者に進を教えることは文學にとって可能か?」と置きかえたりほどだ。「生の文學」「死の文學」の「生の文學」に加うるに「食の文學」のジャンルが定着したことだけが何處か面白い。墨鏡、至香、芳醇、全人格的、全字画的、マリファナ的、求道者的、食の美學をもつて開拓健の世界は文芸書コーナーにて開催中。

——株島休題—— 灰谷健次郎さんにお会いした時、神戸を舞台にした『太陽の子』と出てくる「てだのるあおきぬわ亭」に連れて行ってください!とお願ひしたら「あれば、神戸にはありません。沖縄に行けば、あのイメージのねえあります」とのこと。「あの沖縄料理は、書かって」といえば、「食いものを書いて、旨くなければ、文士失格です」と一笑に付された。納得。

ある会合で、もと天王寺動物園園長、現は慶應大学教授の筒井嘉隆氏の話を聞く。以下、筒井氏のすすめるおいしい料理の仕方。

赤毛虫毛焼・むさぼのうえ、砂糖しようゆの
つけやき。又は天ぷら。珍味。青汁(漿)も美
味。■セミ砂糖醤油のつけやき。ビールのつ
きみに最適。■アシナガバタの幼虫■そのままで
ミルクセーキの味。■クロスズメバタの幼虫■
フライパンいため。塩味。ビールのつきみ。■
クロモロモをつけて天ぷら。カラッとし
ている。■金魚丼。ワサビ醤油。和金がよ
く。■オオサンショウウオ「あらい」が絶品。

(旦吉法に触れる) ■カエル ■食用ガエルでも
くてもフカ焼きは一級品。 ■ハナ・マムシ ■度
刷ぎ。骨たたき。フカ焼き。逸品。 ■パンギン
ダキヨウ ■フカ焼き。味はまあまあ。 ■ミンク
エンベー・チーズ入り。 ■バウ・タコキ・ワー

火を焼き。すばい。

★「7月のフェア」始まる
催し会場の「福蔵・振袖フェア」をご覧下さい

最後に、専門氏は、人間は元来雜食性である。むしろ、管理された食品だけを食べる現代人が偏食している。食糧危機に備えて自然の食品をメイン食卓にすべきであると警告されています。

さて、この圧絶なる食の達道者、筒井康隆氏を父とする人が、現代の天才とも、奇才とも噂される、空手に仕込みSFの巨人「筒井康隆氏」である。親父のいがもの食いのお陰で、学校で「筒井の毛虫弁当」などと謔された経念、今ここに結実。芥川賞に群がる、作家達を粗上のせて、総横無尽、快刀乱麻。「大いなる助走」(文藝春秋)を発表して總調。これぞ、正しく、美食高じて悪食に至る。人を食へ大詰でござります。(喜田)



カット・小説

通判 読書アラカルテ NO. 25
7月09日

〒1650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店(電)

魚心探偵 釣りとホラ

「文藝春秋」の随筆だったかで読んだのだけれど、開高健氏が、縦文時代の骨針を復元している人を尋ね、その針を使い当時を色々と想像して木の籠籠を作った糸をより合わせたものにくくりつけ針をこだらいい。多分カーテンのヒモぐらわの太さではないかと思われるが、それでもアラメなどが使われたと書いていた。

古代では掛けも糸も今から考えると全く恐い様な、うらやましい様な道真で飾っていたことが判る。そして、それが現代でも通用することが驚きだった。もともと魚なんて奴は掛け太かろうと糸が太かろうと飾れるものなんだと思っても不思議はないからう。

以前、四国の西北端になる三崎に行った時に「エサをつけて釣る?」と笑われ、今にして思えば「サビキ」だったが、これで一時間位の間にバケツ一杯もカマスが釣れたことがある。魚釣りを始めて向むかふにとつてはこれ又驚きだつた。

ところが今ではなるべく細い糸に、適当な針をつけ、上等でコースの様な高いエサをつけても釣れないのは何故だろ?と考るのが当たり前になってきた。漁港内の魚は都会に近いためスレているのか、も知れぬ!がアンマリダガア!そこで釣師は魚の気持ちにボリ代わり、ハリスがどうの、針がどうの、エサがどうのと考え巡らせ、悩やぶに悩ぶことに日々を詠だ。

もしも早朝の通草や、海路への渡し船に乗って、釣師達が競り合っているのを見てご覧なさい。能書きの一つや二つは耳に入ってくること請負はっせ。そして遠くにいても身振り手振りで等のござり工合や、大物を合わせた様な感じ、そしておもむろに両手ひらげて奥の方を示すハントマイムの見事なこと。城内にはアイツメが1つかの大魚をあげた話を吹きまくっているのだろうと判るのだ。
皆我余りに釣れないとために、たまきか来た大魚の情況描写は謙虚度に餘に餘に入り立派なストーリーにせせてあげられていくのがまたどよよよと判る。

釣師にボラ吹きが多いといわれるのは釣り場の魚へのアサ晴らしと、はかねは流域がごめられていくと思う。若しもみんなが釣行の度に、いつも1つも大漁だったなら、ボラを作った後の楽しみが半減するよん云うそのではないか。（云町3丁目、「ボエム」喫茶店店主）

釣り手帳の話 釣りファンになど何を氣はる體ながつたのに

立派日の電車の窓から見(1)内海を見たり、釣竿を見たりすると心がさわぐ様になつた。好きな人は釣り日誌なども付けているらしい。ここに紹介するのは山陽電車旅館・発行の「釣り手帳」(54年版)、小冊子ながら、山陽沿線の釣りガイドとして、初心者にはありがたいイラスト入りでカタとくるからうんうんもらっちゃおう。文庫判、23ページ。

本屋からのレジャー情報

最近の福井施設の中で話題になっているものに「ペンション」があります。

ペニション（PENSION）は英語で、本邦は「恩賜」という意味です。仏語ではパンシオン、伊語ではペンシオーネと呼ばれています。語源をたどると、退職した人が恩給で建てた下宿屋のことをいい、それが「民情風俗ルート」に残ってきたようです。西欧ではよく一般に普及して、長期滞在用の宿泊施設として利用されています。日本でも、昭和14年、群馬県草津高原に第一号が誕生して以来、その数は昭和54年1月現在418軒で、そのうちの60%強にあたる256軒が長野県にあります。建物はほとんどが洋風の2階建てで、客室は全部で10室程度、定員は30名ぐらいが標準的であり、経営的な料金と清潔な客室、家族ぐるみのサービスを持続しています。

あなたがこの夏の宿泊プランにペンションを初めてみてはどうでしょうか。

尚、パン・ショパンのガイドブックには次のように畜産物がありますので一読ください。 (藤田)

「全国パンションガイド」	日本交通公社	780円
「パンション79」	面白半分 刊	700円
「ニューガイド⑧ パンション」	弘済出版	640円
「レンタゴテーシ&パンション」	彦報	980円
「全国宿泊表」	アサヒ出版	500円



本屋の
書店

「件名索引待ちこげ、アッタッタ。

僕はいつも、本の表紙にのみこぎれてウンウンうなつていろ本屋の店員なので、読者にピントが合ったしの返事ができる図書目録ができるのを心待ちにしていた。一昨年初公開で、今年5月に新版本をきた「日本図書総目録」(2分冊)は、その意味で画期的るものと映った。実際後に立つし、一冊に何度もなく、学生が言葉を覚える喜びにいたるように、僕もこの目録のお世話になっている。けれど、もちろん、望みどりの本は黒てることがない。書名と著者名で引けるだけでは、まだ僕の望みは満たされない。重複引出を抜引ができる日を首を悬がくして待っている。

現在発行されている各種図書目録は、経済・経営・法律・歴史・人文・理工学・地理・地質・技術・機械・障害者図書目録などで、近年そのワクをひろげてきたのは、読者の要望にそぞものとして期待され、利用されている。しかし、何故せん、まだ限定出版物の分野別分類目録の範囲にとどまる。ブック・オブ・リストの真の価値は、その付随する索引の多機能性にこそあると僕は信じる。「トランジスターで引ける索引」、「ゴルフ」で引ける索引、「麻雀」で引ける索引、「卓球問題」で、「鉛り」で引ける索引が大いに望まれる。この件名索引にすぐれた刊録表が備われば、版元別目録に依存することは一層減らしていくだらう。これは夢になるかも知れない。「夢」の件名索引を作れるか。(小林)

週刊 読書アラカルト NO.26
7月15日
〒650 神戸市中央区元町通3-140 海文堂書店 (運)

魚心 短信 刀工釣り談義

「一瞬幸せになりたかったら酒を飲みなさい。三日間幸せになりたかったら孫娘となさい。八日間幸せになりたかったら飯を親して食べなさい。永遠に幸せになりたかったら釣を覚えなさい。」と開高健次が書いておられたが、其の釣を始めて三十有余年、釣而不継（フリすればどあめせず）をモットーに、よく釣れても家族三人分が有れば十分である、あとは逃げてやるようにしておる。長い釣歴で、特に熱心に釣ったのがアユの毛鉤フリと友釣です。アユの解禁の初め頃は毛鉤フリによく出かけたが、揖保川系、千草川系では釣れるポイントが少なく苦労したものです。丹山川は流れが緩い川でかなり釣場が有り、四国の吉野川はセキの関係で良いポイントが多数有ります。毛鉤フリのポイントの条件は水深が90センチ以上で緩流点、渓頭、開き等で、5~6号の鉤が竿から2メートル上る間に4~5センチ位流れる所でアユが沢山群れているのが最大の条件ですからまずかついでに、釣場に臨んで、毛鉤の選択如何が釣果を左右する。水量、流速、清濁、深浅、底石の状態、朝夕、晴曇、其の場の明暗、等適釣をえらぶのに一苦労です。だいたい一人でよく使つ鉤は20種以内ですが常用するのは4種ぐらいです。鉤は加賀鉤、土佐鉤、福富鉤とあります。私は特に村田鉤（加賀系）を好みで使用しました。使用の毛が緑天然色毛で創始製作者の村田嘉久氏の苦心の作品で、品名は、東の川、黒三光（赤ケン）、三ヶ月、黒熊、おろろくずし、ハツ橋、佩付、お梁元黄、日向赤ケン赤ケン等私は多數持っております。村田鉤がすぐれているのは天然の毛と、どの毛鉤よりも精密に出来ていて、アユに正体を看破されない様よく釣れました。アユは石代フリの底藪類を喰つて引廻系で逃げぬ釣を取るような習性を持っているから毛鉤を追跡するのが得意である。一気に飛び付けてこなリスウーツと追ってくる。時にはフラフラと追っている。追跡の途中毛鉤を長々見ることが多いのですがないとアユは喰わないわけです。更に芋の選択、釣り方、芋の操作と誠に興味尽きませんが、以下次回。



六甲山の図

私たちの町・袖ヶ浦を代表する山、六甲山。この国立公園・六甲山の地図を、あと、駅の売店を見つけて買いました。ざくざく普通の地図でめんどくさくて、出しているところが、国立公園六甲山地区整備促進協議会といふところ。新鮮で親切な内容です。定価も200円と一般的の地図より安いので魅力です。当店では、現在ありませんが、是非欲しい地図、入手をお勧めしているところです。

雑誌2誌を比較する

「会社四季報」VS「会社情報」(1)

投資家にとっては、銘柄選別の決定版であり、ビジネスマンには商取引・信用調査、学生には就職先決定の判断材料等、広く読まれている「会社四季報」に強力なライバルが生まれた。「会社情報」である。三月の創刊号は各界でいろいろな反響を呼んだ。当店でも二誌を並べて売ってましたが、お客様に「会社情報」と「四季報」との違いを尋ねられることがありました。専門的な知識の乏しい私にとってはそれが苦痛のタネで、今回は両方の出版社に原稿を依頼し、両誌の特徴を書いていただくことにした。最初に到着した日本経済新聞大阪本社の大高氏の文章を以下に載せます。

「日経会社情報」の特色は、①収録会社に業績変化があれば日本経済新聞と同じスタイルの表が掲載されるので、いち早く確実に業績変化をキャッチできる。②日経の全国取材網をフルに動員し、会社に直面した徹底の高い業績を掲載している。③半期ごとの業績推移表は、每一回決算が大勢を占めてきた現在、投資家にとって不可欠な情報となる。④売上構成割は3年前と比較できるので、会社の将来性を判断するのに重要な指標となる。⑤財務指標には基本的な指標をすべて網羅し、そのほか自己資本比率、経常利益最高を記録しているので、質と量の両面で充実している。⑥店頭銘柄146社を全社収録している。

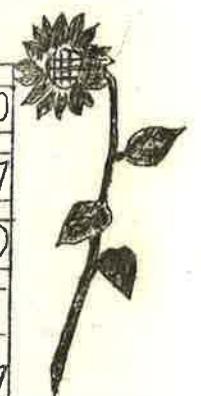
「日経会社情報」はこれらの大きな特色をもとに、さらに夏号からは次の2点を新搭載しました。どちらも、石油費比率、電力費比率を載せエネルギー値上げが企業業績に及ぼす影響度がわかるようになります。さらに、最近2カ年と来年度の大卒採用状況を新掲載したので、就職する学生にも参考の会社情報といえます。

従来、「会社四季報」しかなかったこの手の情報をぐんと伸ばし、多くの投資家のみならず、広くその読者層を増やすことに「日経会社情報」を刊行した意義があります。

数字に見る・本の値段

	昭和15年	昭和25年	昭和30年	昭和52年	指数
新刊書籍 (平均定価)	1円98銭	202.48円	273.85円	2348.48円	1186.10
新刊書籍料 (1ヶ月料金)	1円20銭	55円	230円	1700円	1416.67
郵便ハガキ	2銭	2円	5円	20円	1000.00
薄紙 (10キロ当り)	2円94銭	445円	725円	3000円	1024.41
豪華 (ヨリカサ) 15銭	15	30円	250円	1666.67	

* 78年「出版年鑑」から。指数は昭和15年を1とした倍率です。



カット・小林

読書感想書アラカルテ NO.27
7月23日
TIG50 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店 (電)

釣りキチ 酔夢あれこれ



運転の吊り度をギイギイさせたら、釣場へ急いでいるとデカイ活字がとびこんできた。奄美徳島の「幻の快魚捕獲作戦」である。チャレンジャー達が日夜を駆けてドラム缶4本をいかだに組んだ浮子、ワイヤーロープの道糸、大サバを泳がせた餌等、結果はともかく、久方ぶりのデカリエモラズニュース。—想えば吾輩も釣りキチの末端で威張っているひとりのグラスゴッドたる代物も出来ていいな!1頃から、砂浜でや棒を突き立て頭に鉢をつけ、ケサリガマを振るが如く海のがけて投げこみ、鈴が鳴るまでまますと寝そべった頃から何年になろうか。—日誌をひもとくと、多い年では1年昼夜をかけて64回も出かけていた事もある。日誌には完明に、竿、仕掛け、潮の干満、餌、足の便、同行者まで記している。つまり、次の参考にと言う訳だ。(カゲの声—エエ恰好云うな、その割に上手にならんやあ)しかし。釣りでも何でもそうだが仲々ど真似は深く、努力の上に運もミックスせんと良い釣果は得られまい。そのうちに健康を釣ろうと云う心境にまで遠観したいものだ。(カゲの声一本当か?負け惜しみではないか...) ときどき釣友から戦果の発表報告などがある。キス100センターワーク、カレイ100とか....。その好意ニュースは尊重しているが形と数は大体半分ぐらいいに割りくことしている。決してお人好しの釣人にホラとか不信をもつのではないが自分に失望不快をもつのがいやだから、場所とか仕掛けとかそれなりに合わせることにしている。

かつて、こんな事もあった。四国徳島の郡六と云う前に、早朝から朝日もせずにアリ一便4回かけてあれこれ餌をらびをして出かけた。現地で着いた途端、本降りの大雨、雨に対する吉野川をあとにリターン。おかげで足まで水びたし。徳島市内で長靴を買ったのが土産といふ散々な体験。これ以来、天気図、特に前線の移動諸条件を注視するよう勉強もした。(カゲの声—ウソつけ!!強引によく出かけるではないか) —この頃は腕もさることながら釣果の極めて少ない日が多く。娘はんは手間がはあけてほくそ笑んでいるが二つは甚だ面白くない。それでもコリもせば学童遠足みたいに胸わくわくの連続だ。—いつもにしてモ釣りとは楽しいもので、心身の洗たく、仕事への活力源にまちがいない。マナーを守り、周到な準備、家族への愛情、このろカ条を肝に銘じEDUALな釣をつづけたい。(カゲの声—のど元過ぎればあつさ忘るる...) 釣は驕る勿れ。

私がすすめる釣の本3点

「釣りバカにささげる本」 われら釣り大絶縁 青春出版社刊 590円

「オーパ!」 朝霧 健著 集英社刊 2800円

「カラー版 鮎魚大全」 企画委員・遠藤周作、A.モレシャン 角川書店刊 20000円

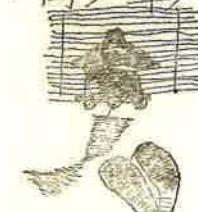


(5生)

この夏 読書旅行特急に乗って海へ山へ

第25回 読書感想文全国コンクールのご案内

(青少年)



今年の全国コンクールの対象図書がきまりましたので、小学校の部についてお知らせします。この対象図書(いわゆる課題図書)は全国学校図書館協議会でえらばれた本です。感想文は原則として、学校を通してお届け下さい。

尚、勤労青少年の方で個人で申し込みされる場合、下記までお届け下さい。

個人用 神戸市垂水区上高丸1-4-1 垂水中学校内

兵庫県学校図書館協議会 ※勤労青少年の場合、対象図書は自由です。

課題図書リスト/小学校の部

低学年の部(1・2・3年生)

「うきうわ」 佐藤みどり文
むじなの業界をみつけた絵本のうきちは、故
森山いぶしひじめると、お姫さまやら行商人が
出てきて....。 ブレーベル館 700円

高学年の部(4・5・6年生)

「おせんべりきらり」 宮原義経作
おかあさんが原因で、たかしくんと絶交したちか
ちゃんは、だんまり戦術で毎に対抗。
童心社 780円

「おひのマフラー」 後藤道子文

コウくんは一年生。でかせぎにゆくおかあさん
がやみでくれたマフラーを、北風がもつていつ
てしましました。 草士文化 980円

「さねる半分だけ」 岩本直志作

青葉学園といつ「広島戦災児育成隊」を舞台に、
悲しい過去にもかげず、たくましく生きる子供の
生活を描く。 ポプラ社 780円

「ちびクト」 玉木きよ作

脳病の少年の心の成長をテーマに、家と少年の
交流を愛情こめて描き、すてきな木版画と共に
アフリカ奥地の雰囲気を伝える。 講談社 1200円

「農場にて」 ゲリエイス作

温く育てられていたネコが、厳しい自然と戦いな
がら生長していく様子を感動的に描いた作品。
文研出版 880円

「川は生きている;自然と人間」 伊藤政顕文

かずかな者も生きる耳。ばねのある足。ひ
しづな能力をもち、さびしい自然を生きぬく
さざの四季。 新日本出版社 880円

「川は生きている;自然と人間」

富山和至作
昔の川、今の川、川を守る人々の三章から成り、
自然と人間とのかかわり合いを軸に、水と緑と土
の関係をわかり易く語りかける。 講談社 680円

カット・小林

週刊 読書アラカルテ NO.28
7月30日

〒650 横浜市生田区元町通3-146 海文堂書店 (電)

静かなブーム 猫の本



最近のペットブームの中でも、特に人気のあるのが猫です。

穏やかな瞳、あとづく甘えかから前足のしづら、そして真剣そのものに胸がまたる小さな顔、撫でさせてみれば、ひんやりと冷い星光、そのいざれもが、猫の可憐らしさを表現していく貴す。しかし、最近の住宅事情や生活のパターンは必ずしも猫を飼つのに適した環境とはいえないとさす。核家族化が進み、集合の高層建築に住む人々が増えつづけ、又、共働きや、ひとり住まいの人にとっては専用の猫の管理が心配でならないようです。

こうした現代生活の中で、どのようにすれば、猫を安心して飼つていいけるか。猫に興味をお持ちの方、これから猫を飼いたいと思っている方、これからご紹介する本をじからお読み下さい。

■ねこ・ねこ・CAT・KITTEEN・KITTY・猫 etc. の本のカタログ

「ねわいい日本猫」 立風書房 1500円	「ネコの本」 ベストブック社 800円
「世界の人気猫」 流田書店 880円	「猫の民俗学」 田畠書店 2200円
「ネコの小百科」 ナツメ社 980円	「ねこ・ねこ・ねこ！」 サンリオ 700円
「カード式猫の」 二見書房 800円	「猫の飼い方」 池田書店 650円
「カード式る猫の」 二見書房 800円	「猫の絵本、ネ・コレージュ」 新書館 2200円
「トキコの本」 講談社 1000円	「猫の疾病」 医薬出版社 7000円
「東京散歩するネコたち」 講談社 1200円	「ネコの小事典」 講文堂新書社 1000円
「カラーがいで・猫」 山と渓谷社 1200円	「猫」 サンケイ出版社 880円
「カラーブックス・ねこ」 保育社 430円	「ネコ」 社会思想社 480円
「まんがひみつシリーズ」 岩波 580円	「猫」 洋研出版 1800円
「ネコの飼い方」 金剛社 850円	「ねこ」 毎日新聞社 1500円
「ネコの事典」 ごき書房 850円	「ねこの絵集」 クイックフォンズ 1200円
「カラー断事・ネコの世界」 平文社 550円	「ネコの飼い方ガイド」 講文堂新書社 1000円

ついでに「ねこ—その歴史・習性・人間との関係—」 法政大学出版局 1200円
その外、小説類等いろいろありニアーグが、本屋で売っているのであります。古いところでは「キャットライフ」(ペットライフ社・月刊)、新しいところでは「猫の手帖」(現代企画室・隔月刊)が出てます。ナント、「ネコ、ねこだらけ」の出版状況ではあります。

ダンスリー・ルネサンス合奏団
の音楽を聞いて

去る7月18日、海文堂書店主催の「中世ルネサンス音楽の夕べ」に書中のリコーダー隊の皆さんから演奏をさせていただきましたので、ここに軽く記します。

ルネサンスの音楽を聞いて (I) 演出:リコーダー部2年 土屋陽子
西山若美

私たちは7月18日の夜、教育会館へ、ダンスリー・ルネサンス合奏団による「中世ルネサンス音楽の夕べ」を駆けに行きました。舞台が近かったので、珍しい美しい楽器をよく見ることができ、あとで触れたり、吹いたりさせてもらいました。バイオリンの前身の楽器や、木で出来ていて古がれていたリエート、そしてリコーダーなど、普段ではみられないような楽器をよく鑑賞できて、とても勉強になつたです。

演奏に入ると、美しい珍しい音色が流れ、うつとりしてしまいました。また素晴らしい歌が入って、なお美しい音色に響きがかかりました。たいていの音乐会といふと、楽器が歌かどうかなのに、西方が歌があって、素晴らしいものでした。それに、舞台上の人が歌取らない擔心が大きめで、なごやかなふん悶声が会場いっぱいにありました。そのうえ、一曲一曲の間に説明が入り、それがとても興味深く、すぐ曲に浸じました。

内容は、一部「中世吟遊詩人の歌と舞曲」、二部「ルネサンスの恋のシャンソン」に分かれており、一部の「エイヤ、ガ節分の歌」ということで、演奏者全員のかけ声が入り面白かったです。ドイツの曲の「起きろんだスマーレーデル」を初めとする四曲を気に入りました。特に最後の「お!主人、僕達はのどが乾いたよ」は男声があり、それがよく響いてきてました。二部の方は、「恋の手書き」が偶然私たちが演奏したことのあるのと同じだったので嬉しくなりました。外国の歌といつのはじめ通じ感じがしてつくづくよかったと思いました。

最後にはアンコールに二度もこたえてくれて、嬉しかったです。帰りもあの音楽が心に残り、またこういう演奏会があればぜひ聞きたいと思いました。

お問い合わせ

○今まで2階レジで販売していました
「ショタケット」を1階のインフォメーションコーナーでお取り扱いすることになりました。今まで同様多くお頼いいただけます。

*「海文堂書店100選」

○次のパンフを用意しています。
ご希望の方はご利用下さい。
※「岩波文庫ジュニア60選」
※「岩波文庫シニア70選」
※「岩波文庫ラブの道」
※「岩波文庫の100選」



カット・小林

週刊 神戸 読書アラカルテ

NO.29
8月6日

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店発行 (電)

ルネサンスの音楽を聞いて

湊中川コーダー部
井上鈴英・林 左織

去る7月18日、私たち湊中川コーダー部は、神戸市教育会館へ「ダンスリー・ルネサンス合奏団」の演奏を聞きに行つた。

会場はせまい、小さなホールで、舞台が近く客席の近くにあり、目の前にはめずらしく見えたことのない楽器が沢山あつた。私はリコーダー部なのでリコーダーを中心にして聞いていました。とても小さくて可愛いらしいソプラニーノ、上等なソプラノ・アルト、今私たちが持っているのと同じようなテノール、首にかけるひもがついていない、見ただけでも重たそうなバス。また、つり掛けのようなく形で変わった音の出るリコーダー。それは中に何かが入っていてそれがぶるえて音が出来るそうだ。お琴に似た楽器、木の実をくりぬいて作ったバイオリンの元といつものもあつた。その沢山の楽器は演奏が終わってからさわったり、吹いたりさじてもうつた。

演奏を聞くと、今まで聞いたことのないような流れで、歌のところの歌詞は全然わからなかつたけれど興味津々やうたい方でだいたい読みとれた。楽器だけでなく歌を入れたのが個性的でよかったです。

第1部の方は冷房が強く、ひやっと寒くて舞台の方を見るのは少なかつたけれど、その分、2部は普段聞けない他の歌をじっくりと聞きました。ルネサンス時代の音楽を聞き慣れないと私たちには一つ一つの楽器の音色がホールいっぱいに広がりとても美しく、そして自分の樂器に心をこめて一生懸命ひびきだしているのがわかり、美しい音色に心を引かれてきました。一番気に入ったのはうきうきした樂曲「ファ・ラ・ラ・ラ・ラン」です。

機会があればもっと沢山聞きたいです。そのためコンサートの回数を多くしてもらいたいです。今日一日とてもよい経験でした。

郷土誌の目



最近の新聞紙面から、郷土の本を紹介します。1つは、江戸時代の初め西・東洋の様子を地図で示した「慶長版萬國繪図」。この「慶長版萬國繪図」は全国で一枚しか現存していない絵図で、歴史研究にも貴重な史料として注目されます。復刻・刊行したのは西播磨地域多文化研究会。絵図は解説付きで1000部刷り、定価は4500円(送料)160円。お申込みは、兵庫県西播磨郡宍粟市上町住86、白井寿光さん方、同会事務局まで。同電話 07917-5-2968
1つは「神戸大阪の華僑一在日華僑百年史」。これはトヨタ華僑団を主宰する池山俊雄氏の著でお申込みは華僑問題研究会(生田丘山本通り1-67)まで。定価は2000円です。

超ベストセラーの時刻表

松本清張の小説に、時刻表をトリックに使った「点と線」という名作がありますが、時刻表は、現在、日本交通公社、弘済出版社、交通案内社の各社から毎月出版されています。

その中でも、日本交通公社版は〈国鉄整修〉で、毎月、全国の鉄道管理局が編成したダイヤ表によどぎて整理編集されています。この「ダイヤ表」には、急行通過駅、踏切などの通過時刻、貨物関係などを記入されていますが、「時刻表」は一般乗客を対象としているのでこれらは省かれています。

内容が時刻表だけに、改正は6ヶ月おこない、ダイヤの大改正時には新版で新組みし、その他の月は部分的に差し替えて、夏期・冬期などの臨時列車などは別組みして編集しています。欄外には、おいにい駅券や名産品などの案内が記載されていますが、この資料は国鉄が提供しています。

尚、毎月発行されている時刻表の主なものは下記の通りです。あなたも旅のおともに是非一冊。

※日本交通公社版 「時刻表」 B5版 500円

「全国時刻表」 規外 350円

「関西時刻表」 規外 250円

※弘済出版社版 「バス時刻表」 規外 350円

「携帯時刻表」 規外 250円

「総合時刻表」 規外 250円

「大時刻表」 A4版 450円

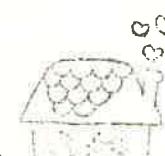
※交通案内社版 「日本時刻表」 規外 350円

「ポケット時刻表」 規外 250円

(藤田)

親ごころの本棚

当店西店の外ではミニコーナーとして、「親ごころの本棚」と題して、現在の子どもたちと教育をとりまく本をそろえています。
是非ご覧ください。



カット・小林

週刊 袖口 読書アラカルテ

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店発行 (電)

N0.30
8月13日

マイ・クラフト私の人形

最近は趣味として、手作りで人形を作る人がふえてきました。袖口では有名な、特別の風格をもった「須磨人形」があります。人形は、そこにあるだけ一つのもの難かぬ主義をもっているかのようです。心を寄せるほど存在感をます人形作りに挑戦してみてはどうでしょうか。今週は「人形の本」をすこし紹介します。



「日本の人形」 毎日新聞社 5000円

「人形大図鑑」 講談社 1600円

「世界の人形・日本の人形」 読売新聞社 1800円

「米山京子の人形集」 雄鶴社 800円

「大高輝美のココロ人形」 雄鶴社 700円

「大高輝美のおもちゃ箱」 雄鶴社 700円

「尾上雅野 人形のアトリエ」 雄鶴社 850円

「坂巻泰男のお人形さん」 日本ヴォーグ社 680円

「てるみの人形あそび」 主婦と生活社 700円

「てぶくろ人形」 日本ヴォーグ社 480円

「てぶくろのマスコット人形」 雄鶴社 480円

「ペーパードール」 日本ヴォーグ社 490円

「やさしいペーパードール」 雄鶴社 480円

「和紙、須磨人形」 神戸新聞出版センター 3200円

吉いっそり高めています。さらに、「会社四季報」は圧倒的な正確さを誇る100万読者の最新企業情報!として、次のようないくつかを紹介します。

○徹底調査による正確な業績・配当予想・新材科の解説

○全面取材によるズバリ戦力となる確かなデータを満載

○50年の実績と信頼を誇る充実した内容

さらに、今は投資家必携の別冊付録「会社四季報15

○%活用法」を加えましたのでご活用ください。

雑誌2誌を比較する

会社四季報 VS 会社情報 (2)

No.26号で「会社情報」の特色をお知らせしましたので、今回は、

「会社四季報」の巻。

前回同様、今回も出版社から送られてきました文章をそのままここに掲載いたします。

■ 東洋経済新報社の「会社四季報」最新版は3月決算を完全に収録しただけでなく、その数字をもとに最終時点まで徹底した取扱をしましたので、業績予想・新材料解説の信頼性



アブ釣り談義 (その2)

アブ文化について少々書いてみたいと思います。一般にはアブと呼ぶ地方が多く、方言ばかりなのでない。このように全国どこでも通用して古くから固定している魚名—タイ・コイ・フナなどもその例一は民族と深い交渉をもつた話題だと思ふ。これに対して、メダカのように方言が4500もあるって、その一つ一つの通用域の狭いのが劣等魚名である。ところが優等魚名であるアブには実にたくさん形容語がついている。海にいる時代のアノゴ、アエゴ、チアエ、ヒウオ、ヒオ、川に上る時期のノボリアブ、ワカアブ、クミアブ、住みつく時期のカタアブ、セアブ、ブタアブ、

カバアブ、下り期のクダリアブ、オチアブ、大水で河口まで流されてきた上るモドリアブ、産卵期のサビアブ、スナクイアブ、弓持ちアブ、反釣りに使ふ、オトリアブ、タネアブ、オヤアブ、等々まさに多種多様である。そして、呼び名がちがふと、生態と漁法もちがい、味や価格にも差がある。以上は組合せ語だが、その基だしい分化は人間生活と直接に結びついているにちがいない。

次に淡水魚としての魚種はどうかと言ふと、一番がアブで、二番が鰐、三番目が鯉でないかと思ふ。アブの歴史は古く、記紀の神功皇后三韓遠征の頃に、アブのことが出てくる。九州松浦の里で、糸を抜き、針をまげて作ったフレッシュに餌粒をつけて、「釣獲に勝つことができるなら魚が釣れますように」と祈って、川の中へ投げ入れたところアブ(細鱗魚)がとれたといふ話である。更に天皇の即位式のとき、階前の左右に立てられる七種の旗のうち、雲形地紋の赤地輪の上部に一個の巖釜(かわ・つぼ)と五匹の魚形、その下部に金字で万歳の二字がぬりとりで現れされている。この万歳旗(万歳旗)の魚形はアブである。その巖釜の意味は酒と考えるのが常識だろう。万歳旗の魚形がアブと言ふ根拠は、神功皇后より古く「神武天皇が御日本磐余彌命といはれていたころ、九州から東征して、國々を平定しながら、紀伊から大和に入ったが、宇陀の高倉山の頂上からながらると、土族のかためがさびしくて、これを征服するのにはなかなかのことと思われた。ところが、ある夜の夢で、天香山の土をもって平底(平たい土器)と巖釜(かわ・つぼ)を作つて、天地の神をまつれ、と神のお告げを受けた。さっそくこれを作つて、丹生の川上で守りまわたくには巖釜を川に沈める。わたくしがもじこの国を治めるといふ大業をなしつけることができるのだったら、この川にすむ魚はござとく、あたかもさきの葉の流れるように、駆つてうかべゆといひのつて、そのかわの口を下向きにして沈めたところ、川の魚が、大きいのも小さいのもみんな浮かんできた。命はこの吉兆をよろこばれて、巖釜を追め、八十裏師らを平らげて、大和の歓火山の福原宮で即位された」と宮地伝三郎氏が書いておられる。この時浮き上がった魚がアブだといわれている。万歳旗はこの勝ちいくさのめでたしシンボルなのである。(以下、次号に) 浅野金釣魚迷

カット・小林

週刊 袖口 読書アラカルテ

NO.31
8月20日

〒650 神戸市兵庫区元町通3-146 海文堂書店発行 (電)

視聴覚障害者のために

今年は「国際児童年」とやらで、複数企画花ざかり。眞面目な企画から、便東源徳商法きがいのものまで猫も杓子も児童年です。数多くの出版社が「国際児童年」をうたった企画を出していますが、どこまでも供達の幸福を願っていますことやら。そこを占う絶妙の墨絵がもうすぐあります。

即ち、2年後の1981年は「国際障害者年」なのです。"ポートピア'81"よりもっと大きめ意味をもつ「国際障害者年」に出版界はどう取り組むか、大いに期待します。

ところで、視聴覚障害者のためのボランティア活動を志される方で、手話や点字を学ぼうとされる場合、一番困られるのはテキストでしょう。私共でわかっているテキストとしては次のようなものがあります。

■ 聴覚障害者のための手話のテキスト

(1)「手話への招待」 A5判 1600円 福村出版 (2)「手話を学ぼう・短文篇」 1300円 福村出版 (8月下旬刊) (3)「手話を学ぼう・長文篇」 福村出版 (編刊) (4)「わたしたちの手話I・II」 各600円 全日本聴覚連盟 (但し、この本は一般書店では全く販売いたしておりません。袖口では、生田区播磨通3-1、市立総合福祉センター内・兵庫県聴覚連盟 (電)にてお求め下さい) (5)「手話の語彙」 パン・F.C.著 1500円 文化科学出版社、が出ています。

■ 視覚障害者のための点訳テキスト、は残念ながら一般書店で販売できるテキストは皆無です。どなたかご存知でしたら是非お教え下さい。且し、

兵庫県立点字図書館 / 神戸総合福祉センター内点字図書館

では、テキストがあるそうですが、現在改修中でこの秋に出来るそうです。同上、点字図書館では点字図書の貸し出しを行っていますし、テープサービスとしては、

日本赤十字社兵庫県支部点字図書館テープライブリー (電)

聖カロリ声の英語図書館 (トーカロード) (電)

が利用できます。いずれも簡単な登録をすると郵送でテープの借り出しができます。

アユ釣り談義 (その3) 浅野釣魚迷

魚へんにからむと書く鮎の事は神功皇后の故事から取ったのだとの説は、いさかまゆづものだと思ふ。私の説では古と解釈せず、古有面積の「こめる」と解釈し、アユが古有面積のエナ場するわち、ナワバリを持つ習性は遠く、氷河期時代の遺存習性で、当時は海潮によって海面が現在より100mも低くかった、食糧不足でナワバリの習性が今日までえりへと受けがれ、子孫の繁殖のためにあらゆる困難にうち勝って自分の責任をはたして死んでゆくアユに対し、一種の感動すらおぼ入るものである。魚へんにからむと書く、鮎といふ事は、日本独特のもので、漢字の本家の中国では、「鮎」はナマズを指すのに使われていて、アユの事を中国では香魚(シャンエイ)と言っている。(以下、次号)

ヨットとボートの免許

ご存知ですか

この夏、ヨット・ボートへの関心が一段と高まって、免許をとる人がろえてきました。海文堂出版からもテキストがでていますが、免許をとるにはどうしたら……といつ頃にお答えします。ヨットやボートに乗るには 小型船舶操縦士の免許が必要ですが、この国家資格試験の受付は ◆日本モーターボート協会 (電) でおこなっています。この国家試験(学科・実技)を免除して、資格が取得できるところが袖口にもありますので紹介します。それは、(5) 日本船舶駆員養成協会・神戸支部 (電)・391-0489)です。ここでは一般と帆船の受付を毎月実施、期間は四綱がく学科6日・実技3日)、一般がく学科)1日・実技6日)、経費は四綱がく83900円、一般がく172500円です。この養成協会の毎日の講義(と実技)は平日サタ朝6:00から9:00まで、土日・日曜は6時間の講義です。随時受付しているとのことですので、ご都合に合わせてお申込みください。

から成り立っているからである。説述できないが、それは〈地方〉であり、〈出版〉であり、〈業〉である。『業』とはく生活のタネである。郷土出版はメシが食えない。『メシ』は食えるくともその文化は残されるべきである。郷土は常に生きているからである。

カット・小林

週刊 読書アラカルテ NO.32
神戸 8月27日

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店発行(電)

“からすたろう”的こと

私は、この本の著者、八島太郎氏については何も知らない。しかし、ふと手にした、この絵本から、胸にこみあげるものを感じさせられなかった。是非、できるだけ多くの人に手にとっていただきたい。

あらすじへ備村の小学校で「ちび」「うすのろ」「とんま」と呼ばれていた。孤独な少年が、6年生の学芸会で、からすの鳴き声の真似をし、その鳴き声に、今まで「ちび」を馬鹿にしていた人々が、だんだんと、ひきこまれ、6年間、毎日、日の出と共に家を出て、日没に家に帰り着く、ちびの住んでいる遠くて淋しい所をはっきりと思い描き、心打たれ、卒業してから、彼は親しみをこめて、「からすたろう」と呼ぶようになりました。

八島さんは31歳で渡米。異郷にある藝術家の切々たる望郷の想いを、特に八島さんの生まれ育った鹿児島の備村と、幼年時代への狂おしいばかりの愛を、今から30年ばかりも前に、アメリカの出版社から「Crow Boy」という英語の絵本として出版しました。この本は、アメリカの絵本に対して与えられる最高の年間賞、コレデコット賞次席をはじめ、米国児童教育連盟最高賞、米国版画協会顕著進歩賞の三賞を受賞していますが、なんと、故国日本へは30年にして、お里帰りというわけです。純粹で、ひたむきな望郷の想いを、専門の絵筆に託した絵も、華美に流れ易い最近の絵本と違い、側面と心に浸みる味わいがあります。(島田)

“からすたろう” 八島太郎・作
偕成社 ¥1400

・コミック産業花ざかり。

ここ10数年来、伸び続けてきたコミック雑誌に代表されるマンガは、出版文化のなかでも、もっとも今日的な底流となって、さらに拡大の様相をみせできている。

出版科学研究所の調査によれば、コミック市場の年間総売上高は、出版界総売上高の16%前後を占めていると発表している。

特に、そのなかでも、週刊少年誌(ジャンプ、チャンピオン、マガジン、サンダー、キング)が伸長ぶりを見せ、1号当り、200万部を超えるものもあり、少年少女マンガ誌(マーガレット、少女フレンド、少女コミック)も好調の波に乗っている。

博報堂が、朝日新聞社「コミック連合」広告で、実施したアンケートの調査結果では、コミックの中心読者年令層は、12才~17才位で、全体の割合では、学生が66%を占めているという。

最近では、特に、テレビ化の商品の動きが、活発である。

こうした若者のマンガ文化に対し、「若者の退行現象の現われである。」という意見や、「いや感性の変革への道である。」という対立意見も出ている。あなたはどちらの意見に賛成ですか? こういう問い合わせをしている間に、コミックの新刊は毎日毎日、汗水の如く発売され、書店の店頭をにぎわしていますが、以下、現在テレビ放映中で人気のあるコミックを紹介します。

- ・「銀河鉄道999」 少年画報社
- ・「キャプテン・フィーチャー」 講談社
- ・「エースをねらえ」 集英社
- ・「レバパン三世」 双葉社
- ・「ゆうひが丘の総理大臣」 秋田書店
- ・「ドカベン」 秋田書店

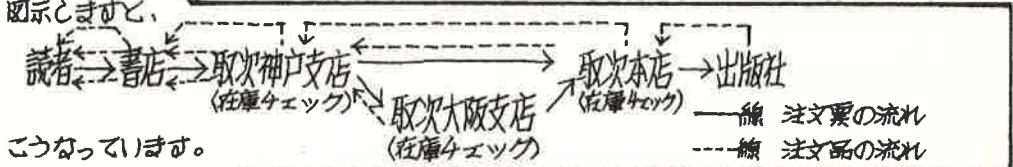
カット・小倉

週刊
袖白 読書アラカルテ NO.33
9月3日

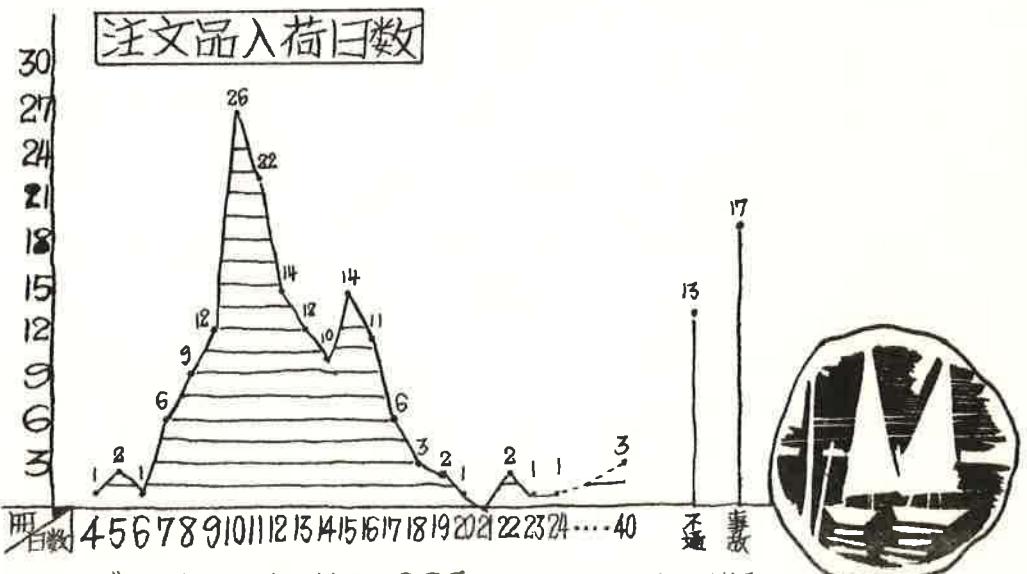
本屋の青だん 本の届く日

2階の理工書専売場で「注文をいただいた本がどのくらいの日数で入荷しているか」を調べてみました。下のグラフがその結果です。

僕たちは必ず「2~3週間ぐらりかかりますよ」と、注文の際お断りしているのですが、思ひがけなく早く入ってくることもあります。出版社まで注文票が回らばた、途中の流通過程（閑居＝取次の在庫量）に注文の本があった場合、割と早く入荷してきます。ちょっと、注文品の流れを図示します。



途中の在庫にあれば早いわけですね。下のグラフでも判りますが、入荷日数のピークは10日で、大体10日から16日ぐらりで10冊以上の本が届いています。遠いところにある出版社や特殊な出版社はさらに日数がかかります。読者の皆さんのご参考まで——。（小林）



* このグラフは12以降の注文品192通について調査したものである。

* 3週間をこえる率は、<3.6%>だった。

* 「事故」伝とは「品切れ」「絶版」「版元不渡り」「書名不明」など。

雑誌2誌を比較する

『ユリイカ』VS『カイエ』(1) フフミ・たかひこ

今年の1月、当店で雑誌のバックナンバーフェアを開催した。雑誌のジャンルが、文学・歴史・美術・インテリア・ファッション等多種にわたったため、焦点の定まらぬ形になってしまった事を今まで残念に思っている。

さて、このフェアの、冊数で一番売れた雑誌が『ユリイカ』であった。もっとも、入荷数も一番多かったので、実売率は約67%、一方『カイエ』は実売率72%で売上数も三位になっている。

『ユリイカ』のバックナンバーに、品切れ入荷不可能の号もありあったのは遺憾なことであった。『カイエ』は1978年7月の創刊の比較的新しい雑誌と云える。『ユリイカ』は創刊から数えて十年になる。

私が『ユリイカ』を初めて読んだのは、九年ほど前であったが、独創であるがあの当時には比べると最近の『ユリイカ』が余り面白くなくなつたようと思える。

ちなみに、今年の雑誌の特集を挙げてみると、先ず『ユリイカ』は「アポリネール→カブカサリソジヤー→ダダイズム」→「自殺→ソヒヒサヒマニエリスム」→「世界の憲論」が特集、「世界の憲論」→「ジャズの死と再生」→「アル・カーニー映画」(文學から映像へ)→「映画(文學から映像へ)」→「麻薬」→「ロートレアモン」→「坂口安吾」→「キース・ジャレット」となる。

特集に対してあれこれ云っても仕方あるまい。一人一人の趣向の違いがあるから。しかし、その特集に対する雑誌の姿勢を比べてみるのも興味だ。『ユリイカ』の表紙には特集の横に「詩と批評」というタイトルが並打ってある。『カイエ』の場合は“Cahiers de la Nouvelle Littérature”(訳すと、文學の話の手帖)となっている。

『カイエ』の場合、詩・文學にとらわれずに、ジャズ・映画等の各方面に觸れる記事も結構多い。無論『ユリイカ』の既刊号に、ジャズや映画の特集号もあるが、『カイエ』の場合は各号によく取り上げている。

インフォメーションコーナーから

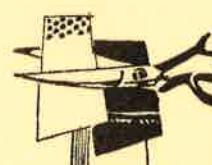
I階売場中央のインフォメーションコーナーは、従来から図書のお問い合わせ、御予約、定期購読書の保管、領収書・図書券の発行など、ご利用いただけておりましたが、このたび各レジに分散しておりました下記の機能をすべてインフォメーションコーナーに集めましたので、今後ともよろしくお願いいたします。

- (1) 英語検定試験受付
- (2) 漢字能力検定試験受付
- (3) OSJシナリオ前売券発売
- (4) 各種絵画展・音楽会等チケット販売
- (5) 教員採用試験受付
- (6) 日本語各種通信講座受付



カット・小林

週刊 読書アラカルト NO 34
神戸 読書アラカルト NO 34
〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店 1979年9月10日発行



インテリア・デザインへの誘い

人間の生活は、人間をとりまくものによって、楽しみもあり、苦しみもあり、又悲しみもある。けれども、一生生きていく人間にとて、やはり楽しい日々がほしいものである。ことわざの中に「日々是好日」というのがあるが、「好日」をつくるためにはわれわれ自身の努力が必要である。美しいということは、人間の最も楽しいことであり、うれしいことである。自分の住む環境を美しく楽しい状態におきたいと考えるのは人間の欲望であろう。元来、インテリア・デザインとは人間を包む環境構成ともいえる。

環境構成とは、生活の音響、光、形、色、柄の整理と調和、暮らしひの豊かさなどをさし、あらゆる想いに直接関係のある触感などは、環境構成には絶対必要なものである。やすらぎ、憩いの基本的な人間感情は、心の安定である。その安定をつくり出すもの、それが環境構成のもっとも重要な点であると思われる。

すなわち、インテリア・デザインとは室内環境の創造である。

下記に、インテリア・デザイン雑誌と書籍を紹介いたしますので、あなた自身のインテリアを、個性的に、又人間的に創造していただきたいと思います。(藤田)

雑誌	書籍
「インテリア」 インテリア出版	毎月10日発売
「季刊INOB」 インテリア出版	発売日未定
「季刊モダンリビング」 婦人画報社	発売日未定
「住宅画報」 住宅新報社	毎月21日発売
「新住宅」 新住宅社	毎月24日発売
「新しい住まいの設計」 サンケイ出版	毎月21日発売
「ニューハウス」 ニューハウス出版	毎月15日発売
「インテリアライフ」 ニューハウス出版	隔月発売日未定
「私の部屋」 婦人生活社	奇数月26日発売
「住宅のインテリア」 金剛社 1500円	
「住まいのインテリア」 金剛社 750円	
「インテリア」 主婦の友社 1480円	
「手づくりインテリア」 保育社 430円	
「インテリア」 保育社 430円	
「住まいの手入力 整理収納」 ダイヤモンド社 980円	

海文堂出版の新刊 「ボトル・シップ」 定価・980円

海文堂が新しいホビー、ボトルシップの作り方と楽しみ方の本を出版しました。

雑誌2誌を比較する

『ユリイカ』VS『カイエ』(2)

樹木希林、倉本恵等、文学にあまり関係ない人が『カイエ』に連載記事をのせているのも『ユリイカ』には見られない現象とも云える。悪く言えば、「下世話に適じた」記事を載せているかと思えば、ロートレアモンの写真を載々の前に初めて見せてくれたり、という奇妙なバランスが保たれている。

『ユリイカ』の紙面作りや執筆者は以前から変わらないように思える。色褪せぬ内容をこれからも維持できるかが『ユリイカ』の今後の課題ではなかろうか。

私自身は『カイエ』に連載されている、井上ひさし氏の「犯罪講義」を毎回楽しみにしている。また、『ユリイカ』臨時増刊で、現在発売中の『シユールレアリスト特集号』に、久しぶりに堪能できる文章を発見した。高橋康也氏の「アリスは彼女の独身者たちに懇にされてさえも」である。

『ユリイカ』も『カイエ』もスタイルは少しう違っていても、文学に対する取組みに熱意を感じさせる編集者がいると思える。

いづれにせよ、こう1つ雑誌がせめて『文藝春秋』の十分の一位でもあればならぬ、というのが私の気持ちである。(フフミ・たかひこ)

シリーズ案内 原本現代訳シリーズ (教育社)

当社は今まで、「産業界」「行政機構」「歴史新書」「時事伝直入門新書」の名著書の刊行を通して、多くの読者に親しまれてまいりましたが、今回、新書シリーズ第5弾として『原本現代訳シリーズ』を刊行することとなりました。

このシリーズは、古典の世界を平易な現代訳で伝えることを主な狙いとしたものです。かつて、私達が伝承聞いたお話や手に汗をにぎった物語、あるいは多くの人々の心をとらえた人生指針の書等の、古典として今日に定着したもの、こうした「原本の世界」は、私達に貴重な経験と指針を与えてくれる一大宝庫です。当シリーズは、それらの中から、特に意義深い100余冊を選びだし、忠実な全文を前提としたやさしい現代訳を手ごろな新書版として刊行しました。数ある古典記や其時の一代記、何處なく書かれた日記や隨筆、地理書等、先人の幾多の足跡を現代に生きる新しい日本の知窓として役立てていただければ幸いです。(教育社・出稿)

新フェア始まる —1万冊もの会場—

海文堂の9月のフェアがいよいよ始まりました。「第15回経済・経営書フェア」です。今回は政府刊行物も含めて、ちょっと他店では見られない内容です。『労働法』など、手にとってご覧ください。



カット・小林

週刊 読書アラカルテ NO. 35

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店 1979年9月17日発行

続 拝啓、万引諸君



読書アラカルテ13号に、私から万引野郎に熱いメッセージを送ったにも拘らず、悲しいかな、メッセージを拒否して、あえて万引のスリルに溺れた方がいる。

やはり見解の相異といふべきか、高橋三四郎風に、むつり右門の「バカにされる、そのお心がうれしい」という、マズヒズティックな趣味なのか、我々のハードなメッセージを、ソフトなラブコールと見えて「御用」となる方が後を絶たない。まして、年配の紳士で、私もお顔を良く存じあげて、声もかわした事のあるお客様が万引でつかまつた、などと聞くと、「ナゼ、アナタサマワ、ソノヨウツナコトヲ……」と絶句するのみである。

尊敬する万引諸君。 ただで、手に入れた一冊の本の痛みは、貴方の心の痛みとして必ず残るでしょう。そして、私供の眼に、また止めて貴方の腕をシカとつかまえた時、その痛みは、貴方の全身の毛穴から、一撃に声をあげて鳴きだすでしょう。貴方のお仲間が、10人か10人ともそつあったように。

貴方が、むつり右門のマズヒズティックな趣味と無縁の方なら、「万引だけは引き合わない」と、ハードに申し上げましょう。万引は小惡デス。心臓に、絶えず小骨をつきさして生きるのも、お互いやりきれませんなあ。

最後に、

ひたにとは言はん

ごめんばけぬ ざじやがども

やめさせておくがほれ

これにのよつたのみます

おがみます

ああ ああ ああ ああ

野上 彰 「阿波折縁文」より

(文・M.S.)

あなたも、郷土誌の蔵庫

〈のじざく文庫〉の会員に！

〈のじざく文庫〉では毎年数点の兵庫県関係の本を出版しています。一般書店でも販売される本と会員にしか配布されない本があります。年間会員は、3500円ですので、全点入手したい方は会員になられることをお勧めします。

54年度の刊行(予定)図書は、「曉に涙は燃える」「海の万葉」「神戸外国人居留地」「但馬更・第2巻」特別配本(会員のみ配布)として「日露戦争日記」のラ点です。お申し込みは下記まで。



■ 神戸市書合区八幡通4-1、神戸新聞出版センター内 のじざく文庫 (発)

あゆ釣り談義 (その4)

前稿(31号)では、淡水魚の中でアユは魚格が一番だと書きました。それでは味の方は如何かと言ふと、これまで、かなり国際的に評価されている。アユはサケ科から離し、一科、一属。一種の魚類としたのは世界のどこにも似た魚がないからである。アユは日本が本場である。ジョルダン博士は世界を歩いた、著名な魚類学者で、日本の魚類についてもすぐれた研究業績をこしているが、淡水魚の中で、世界で一番おいしい魚と指付した魚が、(エウラカン)コロンビア川流域に住む魚で、ワカサギに近い。大きさは大アユぐら。博士はこれが美味の点で第一位で、第二位は日本のアユと言った話が伝えられている。私はよくエウラカンを食べていないからその味はわからなり。個人的から言えば、アユは世界一おいしい淡水魚である。

こんにち、環境保全、魚類保護が叫ばれているが、魚類保護の点において、日本はカナダなんかと比べると、いちじるしく遅れている。特に国民の生命である水を汚染することは、その民族の行く末に重大な悪影響をお及ぼす。河川に排水する工場廃業者はこの点を十分に反省して污水を下流しないよう良心に誓ってやって欲しい。我々、遊魚者も、釣師も網(フリ)それどあみせす(こやさんゆりゆみ)モットーに必要以上の殺生をせび魚類保護に協力せねばなりません。ニギ里子金勺魚(迷)

こうべの図書館1 神戸市教育会館図書館



兵庫県庁から道をへだてて、すこし東へ行ったところに、レンガ色の素適なビルがあります。神戸らしいたたずまいのこの建物が神戸市教育会館です。ここから階にある図書館は、先づオーナンしたばかりです。この図書館をすこし紹介します。

この図書館は、現在全書架がオープンで、座席は24席ですが、何と云っても、その静かな雰囲気は読書する人にとて最高です。持ち込みはできませんが、全点自由に読むことができます。今年6月現在の蔵書は約6000冊、ずつりと重い本が並んでいます。中でも教育関係書は全体の四分の一のボリューム、他では見られない特色を持った図書館です。もちろん教育書だけではなく、「国書目録」「和辻哲郎全集」「日本書道大系」「大漢和辞典」「新編校讎全集」などの大きなシリーズを沢山そなえていますし、平て社の東洋文庫、岩波新書などは流通本の全点がそろっています。文学や美術のジャンルも見るべき本があります。今後さらに拡充していくこの図書館は、神戸の新しい読書スペースとして、広く読書人に開放されています。本を読み疲れたら、一階におりれば、おいしいコーヒーを飲むこともできますよ。

同館の開館時間は、午前10時から午後4時までで、休館日は日曜日と祝日および休日、となるります。同館所在地・神戸市生田区中山手通4-49 神戸市教育会館5階

カット・小林

神戸読書アラカルテ・増刊号
英語だけじゃ地球は回らないよ

〈カセット〉

コース名	教材価格	カセット数
スペイン語	¥36,800	4
南米スペイン語	¥31,800	4
コシア語	¥36,800	4
ポルトガル語	¥31,800	4
イタリア語	¥31,800	4
ギリシア語	¥31,800	4
オランダ語	¥31,800	4
ノルウェー語	¥31,800	4
スウェーデン語	¥31,800	4
フィンランド語	¥31,800	4
アイルランド語	¥31,800	4
アイスランド語	¥31,800	4
ボーランド語	¥31,800	4
デンマーク語	¥31,800	4
エールズ語	¥31,800	4
チェコ語 (Teach Yourself Czech)	¥16,800	—
セルボクロアチア語	¥31,800	4
日本語	¥31,800	4
中国語(共通語)	¥42,800	9
広東語 (Teach Yourself Cantonese)	¥16,800	2
インドネシア語	¥31,800	4
ヒンディー語	¥31,800	4
マレー語	¥31,800	4
標準アラビア語	¥31,800	4
ペルライ語	¥31,800	4
現代ペルシア語 (Teach Yourself Modern Persian)	¥16,800	2
アラビア語 (アルジエリア系)	¥29,800	—
アフリカーンス語	¥29,800	2
ズールー語	¥16,800	2
スワヒリ語	¥16,800	2

世界の言葉はさまざま、英語圏広いといえば
も、それだけで地球は回りません。

世界の各地に翼を広げていく人々に、ここに、さまざまな言葉の辞典を紹介します。これら以外にも沢山の辞典が出版されていますのでお申し出ください。

(尚、辞典の一部、カセットの全点はご注文
扱いになります。)

現代インドネシア語辞典	新書判 並装 二四〇〇円	大学書林
朝倉純孝編 インドネシア語小辞典	四六〇頁 ポケット判 並装 三四〇〇円	大学書林
三宅史平編 エスペラント小辞典	五三〇頁 ポケット判 並装 三三〇〇円	大学書林
田中秀央編 藏英辞典	七二九頁 A6変型 革装 五二〇頁	研究社
チャンドラ・ダス編 羅和辞典	七二九頁 A6変型 革装 三五〇〇円	大学書林
V.S.アブテー編 増改訂梵英辞典	B6変型 一九〇四頁 特製革装 八五〇〇円	臨川書店
R.C.チルダース編 ラテン引用語辞典	B5判 六五〇頁 一般・研究者 B6判函入 一一三六頁 学生・専門	臨川書店
高津春繁著 ギリシアローマ神話辞典	B6判函入 三八八頁 学生・一般 B6判函入 一七〇〇円 岩波書店	臨川書店
DUDEN-ITALIANO Bibliographisches Institut	B6判 八九六頁 一般 四一七〇円 日本出版貿易 (日本総代理店)	岩波書店
SVENSKA DUDEN Bibliographisches Institut	B6判 八七二頁 一般 四一七〇円 日本出版貿易 (日本総代理店)	岩波書店
スウェーデン語・ドゥーデン 直野敦編 ルーマニア語小辞典	二八五頁 新書判 二六〇〇円 大学書林	大学書林
ペルシヤ語小辞典 中村公則編 ヒンディー語小辞典 土井久弥編	新書判 三四〇〇円 大学書林	大学書林
A5判 四七〇頁	八〇〇〇円	大学書林

海の男の艦隊勤務 船の模型アートアリーナ NO.36

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店 1979年3月25日発行

月月火水木金 「海軍めしたき物語」

新潮社刊・B6判・750円

ひととき、神戸新聞で連載、健筆で知られる高橋豊さんが、海軍めしたき兵生活当時の体験を本にされて、話題を呼んでいます。高橋さんは、月刊「神戸つうか何かの会」で田辺聖子さんほか有名な方々とご一緒にさせていただいたこととか、海文堂サイン会でお招きした事もあって身近に慕ませてください。

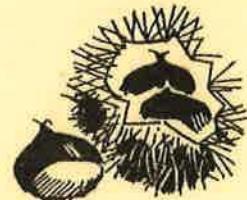
軍艦めしの世界一の「軍艦大和」や「轟」でのメシタキ兵の悲哀?榮誉?、氏のお人柄がそのままのエピソード、失敗談など、なかなか痛快で面白おかしく書かれています。小生などラジオの当時、海軍航空兵で憧れて工業学校AII(航空機械科)の入り章を付けるながら乙種予科練を志願した頃(実際は勉強どころか毎日イモ掘りと砂漠突きの体育教練授業の連続)で学徒勤労報国隊で工場労働員中に終戦となつた、いわば戦中っ子……。それだけにいやに感傷に惹かれた次第。海軍に入れば「酒保」があり、うまいもの、せんざい(甘いものが特に欠乏していた)でも何でも腰一ぱい見えるとか……当時は、とうもろこし、豆かす、ひじき、南瓜、大豆など90%を混ったご飯で飢えていた戦後(内地)……。「一億(国民)本土決戦」とか「ハム一弔、とか、やたら文書どおりの休みなし月火水木金であり、週休二日制など考えも及ばぬ時代を想い浮かべました。おそらくオードファンは懐かしく腹くすぐられて読み継がれることでしょう。

高橋さんの最後の無聲が魚雷で沈められ、死に一生を得て没で漂流中大刀かに足の肉をえぐりとられた事、ミソナやスキ焼きの海軍自慢の味の出し方、内地の心人よりの慰問文(手紙)を水兵達の前で上官からむりに発表させられ赤面したことなど、盛りだくさんの内容。

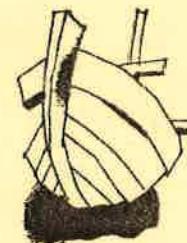
版元の新潮社では増刷が追いつかない次第。いややは氏にとってもお芽出たい事である。近く元町ライオンズでの講演会があるとの由、できれば氏のサイン本をファンの方々のためにお願いしたいと思っています。(S生)

ロングセラーの案内

文春文庫	「軍艦大和」(上)(下)	各300円
文芸春秋	「海軍主計大尉小泉信吉」	850円
ベストセラーズ	「日本の軍艦」	6000円
ベストセラーズ	「海軍艦歴史 第一巻」	8000円
新潮社	「米内光政」(上)(下)	各1200円



船の模型見て聞いた話



海文堂が先月出版した「ボトルシップ」(980円)は類書がなく大変好評ですが、ここに紹介するのはそんなちっぽけな話ではありません。50センチから1メートルに及ぶ船の模型を長い年月、独自の工夫と努力で作り続けておられる方が神戸におられるのです。日本でも希有の、この船模型の作者は、阪神西宮駅の北側で「さいかわ工場」を経営しておられる本屋敷さんです。21日の昼、高麗煙突のあるお家におじゃましてお話を伺ってきましたので紹介いたします。

どの船もガラスケースや強化プラスチックのケースにきれいに收められて、写湯・女湯の洗面場にアレンジしてあります。とは別室に置いてありました。どのケースにも、本屋敷さんが自ら油絵の具で彩色された波と空があって、とても船の感じがよく出ています。中には電気で、燈台が点灯したり、船窓に旗幟を飾るようなほのかな灯がともるものもあります。一つひとつのが船に対する心配りと工夫が眞にもよく判って、本当に樂しくなるてくる船ばかりでした。

「1つ頃から、こつらう模型作りを始めたんですか」「ウン、小学生の頃から、小さいのは作ってたんやけど、それ以来、自分の好きなように作ってきたナー。」「もう、どのぐらい作られたんですか」「そうやな、人にあげた人も多いんで、ようわからんナー。」「一隻作られるのに、どのくらい時間かかるんですか」「風呂のボイラーの面倒をみもちで、一日3時間やらいにはコレにかけとるナ。だいたい、そんなんで2ヶ月はかかる」

ランニングシャツ姿の本屋敷さんにお話をうかがったのはボイラー室の横の「仕事場」。そこには作製中の船がいくつか並び、机には鉛筆のデッサン、棚にはラッカーボックス、抽斗にはノミがズラリ、まるで大工房の様なところです。人まねではない、自分のものをもつ着つきが漂っていました。(小林)

御住前 東灘区北青木3-22-23 (西)

本屋敷さんの 船模型一覧

大洋丸

黒龍丸

神戸丸

オランジル丸

宗谷丸

日本丸

興安丸

イーグル

バイカル

アルゼンチナ丸

サントス

横浜丸

鎌倉丸

イルカ

イスメラルダ

ニホンタマリにも沢山作ってござられたのですが、現在、ほとんどない、とのことです。

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店 1979年10月8日発行

ある半日

植村達男



細く小さい指を三本前へ突きだして、「今日から三歳なの」、
と娘は私に向って云った。ある休日、妻は四歳半になる長男
をつれて外出した。従って、私は三歳の娘と半日を過ごさな
ければならない。

定期券を利用して隣の駅の本屋へ行くことにした。ここのお店員Mさんは「鉄道めぐり」を
趣味にしている。新刊書の棚に、野呂邦暢「古い革張椅子」(集英社)を見つける。前作「王国そ
して地図」に次ぐ二冊目の随筆集である。私は店員のMさんに「古い革張椅子」を差し出して4円
冊を添えた。

本屋を出て2~3分歩いて、時々一人で行く小さな珈琲店に入る。私はコーヒーを、娘にはコ
ーヒーゼリーを注文する。コーヒーを飲みながら備付11の東京新聞・週刊朝日、それに銀座百貨店をパ
ラパラめくる。コーヒーゼリーを食べ終えて少々むずがり出しそうな娘に珈琲店主の若奥さんが、
どこからか折紙でつくったヤッコサンを持って来て渡してくれる。

家に帰って簡単な昼食を終え、郵送してきた「本の雑誌」(第14号)をめくっているうちに娘
眠くなってきた。

眼がさめると午後3時である。娘は近隣公園へ遊びに行っているらしい。私はFM放送の
クラシック番組にダイヤルを合わせ、「古い革張椅子」を読み始めた。一番最初に読みたかったの
は、集中あたりの「コーヒー談議」と最後の方の「古書店主」であったが、最初の「坐り心地」と
いうエッセイから読み始めた。

「本を読むのが好きだから本を書くようになった。というのではあまりに軽く、あまりにも月
並である」(114ページ)といつところで私の眼はハタと止まり、この箇所を何度も読み返した。
私は昨年「本のある風景」という本を出版した。三十歳台のサラリーマンが本を出すことが比較的
珍しかったので、時々「なぜやるに本を出版したのか」という質問を受けた。ドンピシャリな言葉
がなく、うやむやな考え方をしてしまったが、先の野呂氏の言葉は私の気持ちをも、たくみに表現
していたのである。

野呂氏の作品を読みながら、私は一つの想像した。長崎県諫早市に住む野呂氏を訪問し、諫早の
町の小さな喫茶店で、野呂氏と私がコーヒーと古本屋などについて語り合っているシーンになる。

植村氏住所/〒193 八王子市神明町

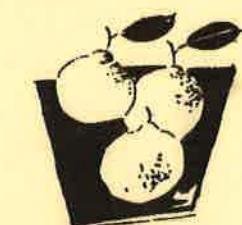
食道楽の本

せに「釣道樂」、「女道樂」、「酒道樂」……と道樂と名のつくもの多かれど男女共々樂じめるのが——「食道樂」

しゃれたお店で高い代金を払って高級珍味を味わつのも道樂ならば、自分の足で日本全国そして
世界各國へと旅を重ね、ありきたりの各地の料理の中から絶妙なる味覚を発見していくのも立派な
食道樂……。

今やまったく忘れられようとしている昔ながらの食べものの知恵、お惣菜のコツ等、四季を通
て余すところなく記した本のかずかずを拾ってみました。今まさに食欲の秋……、食べ過ぎに気
をつけて、さっそく實物も一冊味わってみてはいかがでしょうか。

- 「私の食物譜」 吉田健一 中央公論社 1250円 (下巻)
- 「味覚記」①② 寺尾宗冬 有斐閣書店 各1300円
- 「フランスレストラン紀行」 佐原秋生 白水社 1500円
- 「中国名菜ものがたり」 横浩史 錦文書房 1200円
- 「食味歳時記」 獅子文六 文芸春秋 820円
- 「權流クッキング入門日記」 文化出版局 800円
- 「忘れがたき日本の味」 泰秀雄 文化出版局 980円
- 「カワハギの肝」 松浦明平 六興出版 1200円
- 「味覚三昧」 辻嘉一 中央公論社 780円
- 「たべもの紀行」(1)(2)(3) 読売新聞社 各980円
- 「土を喰ふ日々」 水上透 文化出版局 980円
- 「御殿走帖」 内田百閒 中央公論社 360円
- 「食は広州に在り」 邱永漢 中央公論社 240円
- 「クッキングカード」 飯田深雪 中央公論社 1300円
- 「セーヌ左岸」 犬養洋子 中央公論社 780円
- 「喜永一郎のたべある記」 喜永一郎 柴田書店 1000円
- 「食道樂」 清水桂一 TBSブリタニカ 980円



版元のPR誌

出版社のPR誌もいろいろ出
ていますが、入手するのはむ
かなか大変です。

当店で入手できる版元のPR
誌を紹介いたします。どう
ぞご自由にお読みいただきた
いと思います。

まず、定評ある岩波書店の
「図書」、未来社の「未来」

新潮社の「潮」、講談社の「本」、平凡社の「月刊百科」、有斐閣の「書斎の窓」、共立出版
の「蝶塔」、日刊工業新聞社の「はぐるま」などは月刊で発行されています。それぞれ当店に入荷
しておりますので早い目にお求めください。その他、小学館の「本の窓」、東海大学出版会の「科
学サコン」、東京大学出版会の「レポート」、みすず書房の「みすず」などは入荷数が少いため、お申
し込みいただければ入手いたします。集英社の「青春と読書」もお忘れなく。

——カット・小林

〒650 神戸市生田区元町通3-146 海文堂書店発行

週刊最終号

出版界 ちょっといい話



経済書を中心に活躍する大出版社のK君が、編集部の友人を訪ねて、玉川大学出版部へ行った時のこと。仕事熱心で、出版社精神旺盛なK君。久々振りに会った友人に、「こんど、うちで出した経済小説のXXXXはおもしろいで。それによつ売れどるわひと巻をうごめかして得意満面。そこへ通りかかった玉川大出版部の校正のベテラン○さん。「XXXX」をパラパラとめくって曰く。「確かに面白くて売れるでしょ。それでもね、K君。あなた、この本にどれくらい誤字誤植があるかおわかりですか?」氣勢をそがれ、眞白んだK君、「それでは具体的に指摘して下さい」と挑む。○さんも「それでは、時計を見ていて、一分たつたら言って下さい」と答ける。さて、一分のあいだ20数ページに目を走らせた○さん。ワカ所のミスを指摘し、K君はただ赤面しつまついたとのこと。メーカーとしての出版社は、売れたといつだけでは駄目だ、このように粗雑な作り方はやるされないと、肝に銘じたとのこと。——ちなみに、玉川大学出版部の本は○さんの眼を通してからでないと出版されないとのこと。(島田)

今田中学校の
下中文庫

最近出版された神戸新聞出版センター刊の『兵庫の川筋』という本を読んでいると67Pにくつ下中文庫)のことが載っていました。ちょっと紹介しましょ。

くつ下中文庫)といふのは、平凡社の創立者下中弥三郎氏が、彼の出身地、兵庫県多紀郡今田町の今田中学校に寄贈した本のことです。ここには平凡社の出版したすべての書籍とその関係図書が保管されているということです。

こんな身近なところに、思いがけない素晴らしい文庫があることは案外知られていないのではないか。
こんな身近なところに、思いがけない素晴らしい文庫があることは案外知られていないのではないか。
こんな身近なところに、思いがけない素晴らしい文庫があることは案外知られていない

新しいよどもの本棚 フオア文庫

先月は児童書の世界に大異変、四つの会社が共同でく文庫版を出版したのです。共同出版に参りましたのは、岩崎書店・金の星社・童心社・理論社の四社で名づけて《フオア文庫の会》といいます。ウーンと児童書の世界が開けました。装丁は安野光雅さんで、40冊が同時に発売されました。定価は390円です。

「タイムマシン」「坊っちゃん」「ガラスのうさぎ」「科学者の日」などが入っています。これからのお出発予定では「ピック等あげます」「キューポラのある町」などが挙げられています。楽しみですね。

当店、児童書コーナーでご覧ください。

ヨガ のすすめ



- 「ヨガですらりと美しく」 池田書店 580円
- 「独習ヨガ美姿入門」 新星出版社 680円
- 「ヨガ健康法入門」 日東書院 580円
- 「完全なるヨガ」 新星出版社 880円
- 「よつ子の美しくやせるヨガ」 池田書店 880円
- 「よつ子の三分間ヨガ」 池田書店 880円
- 「ヨガでやせる本」 広済堂出版 630円
- 「ヨガ背骨健康法」 広済堂出版 580円
- 「綺麗になるヨガ」 実業の日本社 680円
- 「やせるヨガ美膚」 潮文社 680円
- 「ヨガ入門」 光文社 600円
- 「原久子のヨガクリニック」 成美堂 600円
- 「ヨガのすすめ」 ベースボールM社 450円
- 「ヨガ体位法入門」 日東書院 580円
- 「美容ヨガ」 日東書院 580円
- 「はじめてのヨガ」 新声出版 880円
- 「完全なるヨガ」 新声出版 880円
- 「冥想ヨガ」 新声出版 880円

健康的な身体をつくるために、スポーツをする人、食べ物に工夫をしている人など、健康を維持するため人はいろいろと苦労をしています。

ヨガも、哲學・思想の範囲をこえて、日常生活の上では主に健康・美容の観点から見直され、実践されています。特に女性には「やせて美しくなる」ということが魅力なのでしょうか。ヨガに取り組む女性がるえています。

道具もいらず、基本をマスターすれば気軽にできるヨガを、あなたも始めてみませんか。美しさに近道はありません。

ヨガの中でも健康と美容関係の本を左に紹介します。

(小倉)

週刊読書アラカルテ あとがき

今年1月の初めから発行を続けてきました日週刊神戸読書アラカルテもこの号、このページが最終となりました。ながら間ごらんに大き有難うございました。間違いや見落しの点があったこと、も今となってはお許しください。

こんな一枚ものの週刊紙を出すのにさえ、随分苦しい時がありました。一冊の本のむこうに、その本のオモテとウラに生きている人間がいるということ、そのことが見えてくる時に、僕は充実感を感じます。素直な一人の人間になれた気がします。

今度は月刊でみなさんにお届けします。ご期待ください。

11月から
月刊で
お届けします

カット・小林

